

教科名	国語科	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『精選 現代文』、その他自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標	
4	1、小説二 「蠅」		10	1、「馭者」や「宿場の空虚な場庭」に集まってきた人物描写を整理すると共に物語の結末がそれぞれの人物に与える意味について理解させる。2、「レキシントンの幽霊」の体験を「僕」がどのように受け止めたのかを読み取り、物語世界の奥深さを理解する。	
	2、小説二 「レキシントンの幽霊」		8		
5	1、評論三 「戦争の〈不可視性〉」		10	1、「戦争」との関わりにおいて人間と社会の質的な変遷が起こった点を読み取り、〈世界戦争〉と人間の条件を改めて問う必要がある点を理解する。2、近代的な市民社会を成り立たせている精神を「である」論理から「する」論理への重点の移動である点を理解する。	
		《中間考査》			
	2、評論三 「「である」ことと「する」こと」		8		
6	1、小説三 「ころ」		12	1、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKの心のありようを読み取る。また、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と闇、近代人のエゴイズムについて考察する。	
7	1、進学・就職対策 自主教材		6	夏休みを目前に、入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語などに注意しながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。また、就職対策として、慣用句や頻出漢字の練習をする。	
		《期末考査》			
8	1、進学・就職対策 自主教材		3	実際の入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。また、就職試験で良く出る四字熟語などの練習と書き取りを行う。	
9	1、評論一 「ブーボー」と「マンマ」の記号論		10	1、「符号」と「記号」の違いを確認した上で、人間の「記号化」「意味づけ」という営みに人間の世界認識のあり方を見、その際の言葉の持つ機能について理解する。2、類義語の用例の分析を通じて意味の違い、使用法の違いを理解し、客観的・論理的な思考方法を学ぶ。	
	2、評論一 サワルとフレル		8		
10	2、小説一 「靴の話」		10	1、戦場における靴に関わる「私」の体験と見解についてまとめ、「事実」という言葉の持つ意味について理解させる。2、主題である、現代人にとって(あるいは人間にとって)「自由」とは何かという問題について読み取らせ、虚構の話が矛盾に満ちた人間の現実を浮かび上がらせること	
		《中間考査》			
	2、小説一 「靴」		8		
11	1、評論二 「身体〈の〉疎外」		10	1、「精神」と「身体」の関わり方の変遷を、論旨に沿って時代ごとにまとめ、現代がどういう時代なのかを理解させる。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養	
	2、入試対策 自主教材		3		
		《期末考査》			
12	1、入試対策 自主教材		6	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。	
1	1、入試対策 自主教材		9	1、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。2、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。	
		大学入試センター試験			
2	1、入試対策 自主教材		12	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う	
3					

教科名	国語科	科目名	現代文B	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 文理選抜コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読み解き、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『精選 現代文』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、小説二 「蠅」 2、小説二 「レキシントンの幽霊」	6 6	1、「取者」や「宿場の空虚な場庭」に集まってきた人物描写を整理すると共に物語の結末がそれぞれの人物に与える意味について理解させる。2、「レキシントンの幽霊」の体験を「僕」がどのように受け止めたのかを読み取り、物語世界の奥深さを理解する。
5	1、評論三 「戦争の〈不可視性〉」 《中間考査》 2、評論三 「「である」ことと「する」こと」	6 6	1、「戦争」との関わりにおいて人間と社会の質的な変遷が起こった点を読み取り、〈世界戦争〉と人間の条件を改めて問う必要がある点を理解する。2、近代的な市民社会を成り立たせている精神を「である」論理から「する」論理への重点の移動である点を理解する。
6	1、小説三 「ころ」	8	1、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKの心のありようを読み取る。また、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と闇、近代人のエゴイズムについて考察する。
7	1、進学・就職対策 自主教材 《期末考査》	6	夏休みを目前に、入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語などに注意しながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。また、就職対策として、慣用句や頻出漢字の練習をする。
8	1、進学・就職対策 自主教材	2	実際の入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。また、就職試験で良く出る四字熟語などの練習と書き取りを行う。
9	1、評論一 「ブーボー」と「マンマ」の記号論 2、評論一 サワルとフレル	8 8	1、「符号」と「記号」の違いを確認した上で、人間の「記号化」「意味づけ」という営みに人間の世界認識のあり方を見、その際の言葉の持つ機能について理解する。2、類義語の用例の分析を通じて意味の違い、使用法の違いを理解し、客観的・論理的な思考方法を学ぶ。
10	2、小説一 「靴の話」 《中間考査》 2、小説一 「靴」	6 6	1、戦場における靴に関わる「私」の体験と見解についてまとめ、「事実」という言葉の持つ意味について理解させる。2、主題である、現代人にとって(あるいは人間にとって)「自由」とは何かという問題について読み取らせ、虚構の話が矛盾に満ちた人間の現実を浮かび上がらせることを理解する。
11	1、評論二 「身体〈の〉疎外」 2、入試対策 自主教材 《期末考査》	6 6	1、「精神」と「身体」の関わり方の変遷を、論旨に沿って時代ごとにまとめ、現代がどういう時代なのかを理解させる。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。
12	1、入試対策 自主教材	4	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。
1	1、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	6	1、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。2、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。
2	1、入試対策 自主教材	6	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う
3			

教科名	国語科	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『精選 現代文B』、その他自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標	
4	1、小説二 「蠅」		10	1、「取者」や「宿場の空虚な場庭」に集まってきた人物描写を整理すると共に物語の結末がそれぞれの人物に与える意味について理解させる。2、「レキシントンの幽霊」の体験を「僕」がどのように受け止めたのかを読み取り、物語世界の奥深さを理解する。	
	2、小説二 「レキシントンの幽霊」		7		
5	1、評論三 「戦争の〈不可視性〉」 《中間考査》		10	1、「戦争」との関わりにおいて人間と社会の質的な変遷が起こった点を読み取り、〈世界戦争〉と人間の条件を改めて問う必要がある点を理解する。2、近代的な市民社会を成り立たせている精神を「である」論理から「する」論理への重点の移動である点を理解する。	
	2、評論三 「「である」ことと「する」こと」		7		
6	1、小説三 「こころ」		12	1、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKの心のありようを読み取る。また、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と闇、近代人のエゴイズムについて考察する。	
7	1、進学・就職対策 自主教材 《期末考査》		6	夏休みを目前に、入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語などに注意しながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。また、就職対策として、慣用句や頻出漢字の練習をする。	
8	1、進学・就職対策 自主教材		3	実際の入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。また、就職試験で良く出る四字熟語などの練習と書き取りを行う。	
9	1、評論一 「ブーポー」と「マンマ」の記号論		10	1、「符号」と「記号」の違いを確認した上で、人間の「記号化」「意味づけ」という営みに人間の世界認識のあり方を見、その際の言葉の持つ機能について理解する。2、類義語の用例の分析を通じて意味の違い、使用法の違いを理解し、客観的・論理的な思考方法を学ぶ。	
	2、評論一 サワルとフレル		10		
10	2、小説一 「靴の話」 《中間考査》		10	1、戦場における靴に関わる「私」の体験と見解についてまとめ、「事実」という言葉の持つ意味について理解させる。2、主題である、現代人にとって(あるいは人間にとって)「自由」とは何かという問題について読み取らせ、虚構の話が矛盾に満ちた人間の現実を浮かび上がらせることを理解する。	
	2、小説一 「靴」		8		
11	1、評論二 「身体〈の〉疎外」		8	1、「精神」と「身体」の関わり方の変遷を、論旨に沿って時代ごとにまとめ、現代がどういう時代なのかを理解させる。2、実際の入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。また、就職対策として作文指導をしていく。	
	2、進学・就職対策 自主教材 《期末考査》		3		
12	1、進学・就職対策 自主教材		8	実際の入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。また、漢字の書き取りや慣用句についての説明や、作文指導に取り組んでいく。	
1	1、進学・就職対策 自主教材		9	入学試験の実戦問題を行う。また、就職の生徒については語彙を増やし、文章が作成できるように適時指導していく。	
2	1、進学・就職対策 自主教材		12	入学試験対策を行うと共に、就職の生徒に対して語彙を増やし、文章が作成できるように適時指導していく。	
3					

教科名	国語科	科目名	古典A	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 <small>特別進学コース・文理選抜コース(文系)</small>	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての古文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広げ、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。古文読解に必要な文法を理解し、古語の知識を身につけ、文章の読解を深めるとともに、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、古典に親しむ態度を養う。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	東京書籍『古典A』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、古文 物語 伊勢物語 「狩りの使ひ」	8	1、和歌を中心として展開する歌物語の特徴を理解し、修辞法に注意をしながら、和歌の奥行きのある表現方法を味わう。2、孟母が学問をどのようなものと考えているかについて捉え、漢文特有の論理について理解する。
	2、漢文 故事と寓話 「孟母断機」	8	
5	1、古文 物語 伊勢物語 「小野の雪」	8	1、各章段の多様な愛の姿を読み取り、人々にとって和歌を詠むことが人生の中でいかに重要な行為であったかを考えることで、叙情的な美しさを読み味わう。2、荘周が夢の話をする中で何を伝えたかったかを理解する。また、寓話が意味するものを捉えられるようにする。
	2、漢文 故事と寓話 「夢為胡蝶」「従漚鳥游」	6	
6	1、古文 物語 大和物語 「安積山」	8	1、歌物語としての『大和物語』について理解を深めると共に、恋愛の激しさやそれが招いた悲劇的な結末について読み味わう。2、直躬についての孔子と韓非子の評価の違いについて理解する。また、歴史家の使命について考え、この故事の意味するところを読み取る。
	2、漢文 故事と寓話 「直躬」「崔杼弑其君」	8	
7	1、古文 物語 とりかへばや物語	4	1、源氏物語の影響を受けつつ男性らしくない男君と女性らしくない女君がそれ故に巻き込まれる物語を理解できるようにする。2、和歌の修辞法の理解を深め、和歌をより深く鑑賞する力を養う。
	2、和歌の修辞法	2	
8	1、古文 物語 源氏物語 文学史における『源氏物語』	3	1、『源氏物語』に入っていく前段階として、「家系と人間形成」「『源氏物語』の創作とその世界」などの視点から、作者と物語への関心を深める。また、王朝文学の最高峰とも言うべき作品世界への理解を深める。
9	1、古文 物語 源氏物語 「なにがしの院」	10	1、平安期の文学の多様な流れを統合した、物語文学の最高峰とも言うべき作品を通して王朝文学の粋を味わう。なにがしの院における物の怪の出現と、夕顔の死および光源氏の狼狽について理解する。2、孔子と弟子とのやりとりにより、弟子の性質をよく見抜いた孔子の指導力と愛すべき直情の弟子のプロフィールを理解する。
	2、漢文 孔子と子路 「子路請為弟子」	8	
10	1、古文 物語 源氏物語 「新春の六条院」	6	1、光源氏の栄華の頂点を描いた場面を読むことにより、六条院のありさまや明石の君母子に対する光源氏の情愛について理解する。2、最後まで師の教えを守り通した弟子の姿と、弟子の死を予言した師の人物理解の的確さについて理解する。
	2、漢文 孔子と子路 「嗟乎、由死矣」	6	
11	1、古文 物語 源氏物語 「香の御五十日」	6	1、不義の子を抱かねばならず、またそれがかつての自身と藤壺との過ちを想起させ、人間の根底にある情念の醜さを思い知るという源氏の悲嘆や苦悩を読み取り、また出家した女三の宮に対する源氏の複雑な心の動きを捉える。2、高祖の人物像を正しく読み取り、項羽との違いについて理解させる。
	2、漢文 漢の高祖と韓信・張良 「大丈夫当如此也」	3	
12	1、古文 歴史 大鏡 「時平の大臣」	3	1、『大鏡』の内容、構成・形式・成立時期、作者について理解する。紀伝体の語りの方に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。また、時平、道真の官位・年齢・人柄を整理し、人物像をまとめる。2、覇上に到着した沛公の言動を指摘し、沛公の考えを読み取る。
	2、漢文 漢の高祖と韓信・張良 「法三章耳」	3	
1	1、古文 歴史 大鏡 「東三条院と道長」	4	1、貴族の権力争いと、それをめぐる人々の心情について理解を深める。特に道長のまれに見る強運やその後権力の頂点に立ったことを理解させる。2、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。
	2、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	5	
2	1、入試対策 自主教材	12	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。
3			

教科名	国語科	科目名	古典B	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	大修館書店『精選古典B』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、古文 随筆 枕草子 「うれしきもの」 2、漢文 逸話と寓話 「不死之薬」	5 5	1、清少納言の機知に富んだ文章を読むことにより、「をかし」の文学といわれる点を実感できるようにする。1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意
5	1、古文 物語— 大和物語 「をばすて」 《中間考査》 2、漢文 逸話と寓話 「売油翁」	8 6	1、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、和歌の用法や技法に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。2、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。
6	1、古文 日記 蜻蛉日記 「町の小路の女」 2、漢文 史伝 「荆軻」	6 4	1、作者である藤原道綱母の思いと、夫である藤原兼家との気持ちのずれの違いに注意して読解できるようにする。2、刺客として秦の始皇帝を殺害することとなった荆軻の心境を読み取り、歴史への興味・関心が持てるようにする。
7	1、漢文 史伝 「荆軻」 《期末考査》	6	1、秦の始皇帝の前で、いよいよ刺客として行動を起こそうとするものの、計画が露見しても事をなそうとする荆軻と始皇帝のやりとりを理解すると共に『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さについて味わえるようにする。
8	1、古文 日記 和泉式部日記 「香る香に」	2	1、和泉式部と師宮敦道親王との恋愛を歌物語風書き記した点を理解し、会話の主や主語を明確にしなが、文脈に沿って読解ができるようにしていく。
9	1、古文 物語 源氏物語 「葵」 2、漢文 文章 「師説」	4 4	1葵上にとりついた六条の御息所の生き霊が次第に姿を現していく場面を、叙述に従って理解できるようにする。2、論理を追って正しく読解してゆく技法と方法を養うと共に唐家八家文の一つとしての形について理解できるようにする。
10	1、古文 物語 源氏物語 「須磨」 《中間考査》 2、漢文 小説 「人虎伝」	7 5	1、光源氏が須磨に行かなければ行けなかった状況を理解し、叙情的な文章や和歌の含み持つ文体の美しさを理解できるようにする。2、伝奇小説を読むことにより漢文に特有のリズムに慣れ、かつ重要な語句の読み方や意味、句法に習熟できるようにする。
11	1、古文 物語 源氏物語 「若菜上」 2、漢文 小説 「人虎伝」 《期末考査》	6 6	1、光源氏と紫の上は女三の宮の降嫁をどのように受け止めているかを理解する。また、和歌のやりとりによって二人の心がすれ違っているところを読み味わう。2、李徴の言動から、どのような人物なのかを考え、また虎となった李徴の行動について整理し、中島敦の「山月記」との違いについて考えていく。
12	1、古文 評論 無名抄 2、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」	2 2	1、「古今和歌集仮名序」にはじまる歌論の流れについて整理をし、和歌の内容とそれに対する批評の論理性について理解できるようにする。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。
1	1、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」 2、受験対策 自主教材	4 2	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、入学試験を目前に、実戦問題を行う。
2	1、受験対策 自主教材	6	1、入学試験を目前に、実戦問題を行う。
3			

教科名	国語科	科目名	古典B	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 文理選抜コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	大修館書店『精選古典B』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、古文 随筆 枕草子 「うれしきもの」 2、漢文 逸話と寓話 「不死之薬」	5 5	1、清少納言の機知に富んだ文章を読むことにより、「をかし」の文学といわれる点を実感できるようにする。1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意
5	1、古文 物語— 大和物語 「をばすて」 《中間考査》 2、漢文 逸話と寓話 「売油翁」	5 5	1、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、和歌の用法や技法に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。2、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。
6	1、古文 日記 蜻蛉日記 「町の小路の女」 2、漢文 史伝 「荆軻」	5 5	1、作者である藤原道綱母の思いと、夫である藤原兼家との気持ちのずれの違いに注意して読解できるようにする。2、刺客として秦の始皇帝を殺害することとなった荆軻の心境を読み取り、歴史への興味・関心が持てるようにする。
7	1、漢文 史伝 「荆軻」 《期末考査》	6	1、秦の始皇帝の前で、いよいよ刺客として行動を起こそうとするものの、計画が露見しても事をなそうとする荆軻と始皇帝のやりとりを理解すると共に『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さについて味わえるようにする。
8	1、古文 日記 和泉式部日記 「香る香に」	2	1、和泉式部と師宮敦道親王との恋愛を歌物語風書き記した点を理解し、会話の主や主語を明確にしなが、文脈に沿って読解ができるようにしていく。
9	1、古文 物語 源氏物語 「葵」 2、漢文 文章 「師説」	8 6	1葵上にとりついた六条の御息所の生き霊が次第に姿を現していく場面を、叙述に従って理解できるようにする。2、論理を追って正しく読解してゆく技法と方法を養うと共に唐家八家文の一つとしての形について理解できるようにする。
10	1、古文 物語 源氏物語 「須磨」 《中間考査》 2、漢文 小説 「人虎伝」	8 6	1、光源氏が須磨に行かなければ行けなかった状況を理解し、叙情的な文章や和歌の含み持つ文体の美しさを理解できるようにする。2、伝奇小説を読むことにより漢文に特有のリズムに慣れ、かつ重要な語句の読み方や意味、句法に習熟できるようにする。
11	1、古文 物語 源氏物語 「若菜上」 2、漢文 小説 「人虎伝」 《期末考査》	3 3	1、光源氏と紫の上は女三の宮の降嫁をどのように受け止めているかを理解する。また、和歌のやりとりによって二人の心がすれ違っているところを読み味わう。2、李徴の言動から、どのような人物なのかを考え、また虎となった李徴の行動について整理し、中島敦の「山月記」との違いについて考えていく。
12	1、古文 評論 無名抄 2、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」	2 2	1、「古今和歌集仮名序」にはじまる歌論の流れについて整理をし、和歌の内容とそれに対する批評の論理性について理解できるようにする。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。
1	1、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」 2、受験対策 自主教材	4 2	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、入学試験を目前に、実戦問題を行う。
2	1、受験対策 自主教材	6	1、入学試験を目前に、実戦問題を行う。
3			

教科名	国語科	科目名	古典B	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	大修館書店『精選古典B』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、古文 随筆 枕草子 「うれしきもの」 2、漢文 逸話と寓話 「不死之薬」	10 8	1、清少納言の機知に富んだ文章を読むことにより、「をかし」の文学といわれる点を実感できるようにする。1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意
5	1、古文 物語— 大和物語 「をばすて」 《中間考査》 2、漢文 逸話と寓話 「売油翁」	10 8	1、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、和歌の用法や技法に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。2、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。
6	1、古文 日記 蜻蛉日記 「町の小路の女」 2、漢文 史伝 「荆軻」	10 8	1、作者である藤原道綱母の思いと、夫である藤原兼家との気持ちのずれの違いに注意して読解できるようにする。2、刺客として秦の始皇帝を殺害することとなった荆軻の心境を読み取り、歴史への興味・関心を持てるようにする。
7	1、漢文 史伝 「荆軻」 《期末考査》	6	1、秦の始皇帝の前で、いよいよ刺客として行動を起こそうとするものの、計画が露見しても事をなそうとする荆軻と始皇帝のやりとりを理解すると共に『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さについて味わえるようにする。
8	1、古文 日記 和泉式部日記 「香る香に」	3	1、和泉式部と師宮敦道親王との恋愛を歌物語風書き記した点を理解し、会話の主や主語を明確にしなが、文脈に沿って読解ができるようにしていく。
9	1、古文 物語 源氏物語 「葵」 2、漢文 文章 「師説」	8 8	1葵上にとりついた六条の御息所の生き霊が次第に姿を現していく場面を、叙述に従って理解できるようにする。2、論理を追って正しく読解してゆく技法と方法を養うと共に唐家八家文の一つとしての形について理解できるようにする。
10	1、古文 物語 源氏物語 「須磨」 《中間考査》 2、漢文 小説 「人虎伝」	8 8	1、光源氏が須磨に行かなければ行けなかった状況を理解し、叙情的な文章や和歌の含み持つ文体の美しさを理解できるようにする。2、伝奇小説を読むことにより漢文に特有のリズムに慣れ、かつ重要な語句の読み方や意味、句法に習熟できるようにする。
11	1、古文 物語 源氏物語 「若菜上」 2、漢文 小説 「人虎伝」 《期末考査》	8 8	1、光源氏と紫の上は女三の宮の降嫁をどのように受け止めているかを理解する。また、和歌のやりとりによって二人の心がすれ違っているところを読み味わう。2、李徴の言動から、どのような人物なのかを考え、また虎となった李徴の行動について整理し、中島敦の「山月記」との違いについて考えていく。
12	1、古文 評論 無名抄 2、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」	3 3	1、「古今和歌集仮名序」にはじまる歌論の流れについて整理をし、和歌の内容とそれに対する批評の論理性について理解できるようにする。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。
1	1、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」 2、受験対策 自主教材	6 3	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、入学試験を目前に、実戦問題を行う。
2	1、受験対策 自主教材	12	1、入学試験を目前に、実戦問題を行う。
3			

教科名	歴史	科目名	世界史演習 I	単位数	5 単位
対象学年	第 3 学年 普通科	履修形態	選択	授業形態	3 T Z 文系 3 G
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
学習内容の概要	2 年次の学習内容を大学受験に沿う形で充実させる。 ○第Ⅲ部：第 9 章近世ヨーロッパ世界の展開～第 1 2 章：アジア諸地域の動揺 ○第Ⅳ部：第 1 5 章二つの世界大戦～第 1 7 章現代の世界				
学習方法	○歴史はつながっている。集中して授業に取り組むことが大切。 ○定期考査は模試・入試に直結する土台。しっかりと学習を積み、80 点以上をめざす。				
評価の観点・ 評価方法	基礎的知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。 定期考査・問題演習・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	『改訂版詳説世界史 B』(山川出版社)				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	評価
4	第 9 章近世ヨーロッパ世界の展開	①重商主義と啓蒙専制主義 ②ヨーロッパ諸国の海外進出	5 5 5	・17 世紀後半の西ヨーロッパで、イギリスは議会政治に基づく立憲君主政の確立、フランスは絶対王政の強化と、逆の動きをとった点を理解させる。 ・経済発展が遅れていた東ヨーロッパ地域で 18 世紀後半、君主が「上からの改革」を試みる啓蒙専制主義が出現した点を理解させる。 ・西ヨーロッパ諸国が国富の増大をめざして重商主義政策をとる中、植民地獲得の争いを繰り返した点を理解させる。	始業式
5	第 1 0 章近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	③17～18 世紀のヨーロッパ文化 ①産業革命 ②アメリカ独立革命	5 5 5	・この時期のヨーロッパでは、宮廷文化の一方、豊かになった市民が支える市民文化が開花したことを理解させる。 ・18 世紀後半の「二重革命」を通じて、欧米地域がその外部の世界に対する影響力を一段と強めた点を認識させる。 ・資本主義を確立した産業革命によって工業中心の社会が生み出された点と、これをいち早く達成したイギリスが世界の市場形成に主導的役割を果たしていく点を理解させる。 ・アメリカの独立革命が、近代民主政治の基本原則を表明した点と、植民地の独立といった点をもっていたことを認識させる。	中間考査
6	第 1 1 章欧米における近代国民国家の発展	③フランス革命とナポレオン ①ウィーン体制の成立 ②ヨーロッパの再編と統一国家の誕生	5 5 5 5	・フランス革命が身分制の旧社会を廃棄し、有産市民層に政治的発言力をもたらした点と、国民国家の理念を打ち出した点は、アメリカ独立革命とともに、近代国家と近代市民社会の重要な原則を提起したことを、理解させる。 ・19 世紀前半のヨーロッパでは、ウィーン体制のもとでナショナリズムや自由主義的改革の動きが続いた点と、工業化（産業革命）が大陸諸国にも広がった点を理解させる。 ・1848 年革命とクリミア戦争後、19 世紀後半のヨーロッパでは列強諸国が国内問題に専念する間、イタリア・ドイツが統一国家樹立に成功し、新しい形の列強体制が復活した点を把握させる。	期末考査
7		③南北アメリカの発展 ④19 世紀欧米文化	5 5 5	・アメリカ大陸では、19 世紀前半にラテンアメリカ諸国の多くの国は独立を実現した。合衆国はこの時期に大陸国家を形成し、同世紀後半には南北戦争後、国民国家の形成と産業の急速な成長を開始した点を理解させる。 ・欧米諸国では近代産業と近代諸科学の発展とともに市民文化が成就する一方、植民地化の拡大に伴いアジア・アフリカ地域に対する優越感が広まった点を把握させる。	終業式

8	第12章アジア諸地域の動揺	①オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ②南アジア・東南アジアの植民地化 ③東アジアの激動	5	<ul style="list-style-type: none"> ・弱体化の傾向を見せ始めた西アジア・南アジア地域、新たな領域国家を形成した東南アジア地域、全盛期の終わった中華帝国（清）の19世紀の動向と、ヨーロッパ諸国の干渉・植民地化の本格化の動きを理解させる。 ・西アジアではオスマン帝国からの諸民族の独立運動とそれに伴うヨーロッパ勢力の干渉を理解させる。 ・南アジアではムガル帝国の衰退とイギリスの植民地化、東南アジアではタイを除く全地域の植民地化を把握させる。 ・東アジアでは、アヘン戦争から対外戦争と内乱で衰退した清朝、開国を迫られた日本・朝鮮の動きを理解させる。 ・ヨーロッパ諸国の進出に対して、アジア諸地域での政治体制の改革や近代化の試み、独自の信仰や宗教を基盤とした抵抗と、それらを源流とするナショナリズムの芽生えを把握させる。 	始業式
9	第13章帝国主義とアジアの民族運動	①帝国主義と列強の展開 ②世界分割と列強対立 ③アジア諸国の改革と民族運動	5 5 5 5	<ul style="list-style-type: none"> ・1880年代以降の欧米諸国の動きを、帝国主義政策とその背景、欧米先進国内に及ぼした影響や、市民文化が成熟に向かう様子も含めて理解させる。 ・帝国主義政策の展開に伴い列強による植民地再分割が激化し、アフリカ・太平洋地域・中国が主な対象となった世界規模での動きを理解させる。 ・列強体制が二極分化する中、日露戦争後、列強の対立軸が変化する過程と、対立舞台がアフリカ・アジアからオスマン帝国・バルカン地域に移動し、多民族帝国であるオーストリア・ハンガリーとロシアがこの地域で対立を深めていくことを把握させる。 ・帝国主義の攻勢かに置かれたアジア諸地域やラテンアメリカのメキシコで、近代化によって外圧に対抗しようとする革命が起り、また民族運動の形成が開始されたことを把握させる。 	
10	第14章二つの世界大戦 第15章冷戦と第三世界の独立	①第一次世界大戦とロシア革命 ②ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ③アジア・アフリカ地域の民族運動 ④世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ⑤第二次世界大戦 ①戦後世界の形成とアジア諸地域の独立 ②米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ③第三世界の台頭と米・ソの歩みより ④石油危機と世界経済の再編	5 5 5 5	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦が、世界に戦火を広げ、総力戦となって参戦各国の大戦前の政治・社会構造を変容させた意義を理解させる。 ・大戦が、戦後の社会主義ロシアとアメリカ合衆国の世界政治への登場を導き、さらに非ヨーロッパ諸地域の自立化への歩みを加速させた点を理解させる。 ・戦後、国際連盟のもとで平和の実現を期待されたが、世界恐慌が起り、各国が自国の利益を優先するようになり、国際協調の気運が急速に後退した点を認識させる ・ファシズム国家が侵略による状況打開をめざすと第二次世界大戦が引き起こされ、アメリカ合衆国とソ連の主導により連合国側が勝利し、新しい国際秩序の模索が始まった点を理解させる。 ・「冷戦」の構造となった東西陣営の対立関係が形成されていった過程を理解させる。 ・長い間植民地状態におかれてきたアジア・アフリカの諸民族は独立を達成したが、民族分断や局地戦争に直面する点を認識させる。 ・経済面では、アメリカ合衆国を中心とする先進諸国の間で自由貿易体制が拡大する一方、独立を達成したアジア・アフリカ諸国との間で「南北問題」が表面化した点を理解させる。 ・イスラエルが建国されたことから中東戦争が始まったことを理解させ、これと関連させながらアラブ地域の民族主義のあり方を把握させる。 ・アフリカの独立・ラテンアメリカの国情を取り上げ、地域対立・政情不安、経済の立ち遅れなどの問題を理解させる。また、先進国が経済援助を通じてこれらの地域に影響力を行使する実情に触れる。 ・キューバ危機をきっかけに米ソ両大国が歩み寄りを示し、緊張緩和、平和共存の流れが進んだことを理解させる。 ・スターリン批判を機に社会主義諸国に動揺が見られ、中ソ対立も始まったことから、ソ連の国際的威信が低下したこと、長期化したベトナム戦争で敗北したことが、アメリカの自信を揺るがすことになったことをつかませる。 	中間考査

11	第16章現在の世界	①社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ②途上国の民主化と独裁政権の動揺 ④地域紛争の激化と深刻化する貧困 ④現代文明の諸特徴	5 5 5 5	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済・民主化・自由化などの観点から、世界の社会主義諸国が変動に見舞われた事情を理解させ、その課題を認識させる。 ・冷戦終結後、資本主義の優位が強調される中、アメリカの軍事的優位が維持されたまま、情報通信革命の進展を背景にグローバリゼーションが強まる時代になったことを把握させる。 ・地球上の各地で経済を中心に地域統合が進む中、地域紛争の激化、アジア・アフリカの最貧国の状況が改善されていない現状を把握させる。 ・人類は一国単位だけではなく、地球規模の国際協力が求められており、各国政府・国際機関・NGOなど、様々な主体による多角的な協力関係の構築が求められている点を認識させる。 	期末考査
12	センター試験対策		5 5 5	<ul style="list-style-type: none"> ・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。 	終業式
1	センター試験対策 私大・二次試験対策		5 5 5	<ul style="list-style-type: none"> ・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。 	始業式
2	私大・二次試験対策		5 5 5 5	<ul style="list-style-type: none"> ・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。 	
3	私大・二次試験対策			<ul style="list-style-type: none"> ・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。 	卒業式

教科名	歴史	科目名	世界史演習Ⅱ	単位数	2単位
対象学年	第3学年 普通科文理選抜コース	履修形態	選択	授業形態	3Z私文系
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を培う。				
学習内容の概要	世界史の膨大かつ多岐にわたる内容を系統的に整理する。問題演習を通して、私大入試のベースをつくり、志望校の過去問に積極的に取り組む。				
学習方法	○歴史はつながっている。集中して授業に取り組むことが大切。 ○センター試験および私大受験対応の問題集を使用して、問題演習を行う。 ○定期考査は模試・入試に直結する土台。しっかりと学習を積み、80点以上をめざす。				
評価の観点・ 評価方法	基礎的知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。 定期考査・問題演習・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	『詳説世界史B』（山川出版社）・センター試験および私大受験対応の問題集				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な行事
4	序章先史の世界 第1章オリエントと地中海世界	人類の進化・文化から文明へ・人類と言語の文化 1 古代オリエント世界 2 ギリシア世界	2 2 2	問題演習	始業式
5	第2章アジア・アメリカの古代文明	3 ローマ世界 1 インドの古典文明 2 東南アジアの諸文明 3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明	2 2 2	問題演習	中間考査
6	第3章内陸アジア世界・東アジア世界の形成 第4章イスラーム世界の形成と発展	1 草原の遊牧民の活動とオアシスの定住民 2 北方民族の活動と中国の分裂 3 東アジア文化圏の形成 1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4 イスラーム文明の発展	2 2 2 2	問題演習	期末考査
7	第5章ヨーロッパ世界の形成と発展	1 西ヨーロッパ世界の成立 2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	2 2 2	問題演習	終業式
8	第6章内陸アジア世界・東アジア世界の展開	1 トルコ化とイスラーム化の進展 2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国	2	問題演習	始業式
9	第7章アジア諸地域の繁栄 第8章近世ヨーロッパの形成 第9章近世ヨーロッパ世界の展開	1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と衰退 1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成 1 重商主義と啓蒙専制主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進出 3 17～18世紀のヨーロッパ文化	2 2 2 2	問題演習	
10	第10章近代ヨーロッパ・アメリカ	1 産業革命 2 アメリカ独立革命	2 2	問題演習	

	カ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺 第13章 帝国主義とアジアの民族運動	3 フランス革命とナポレオン 1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3 南北アメリカの発展 4 19世紀欧米文化 1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動	2 2		中間考査
11	第14章 二つの世界大戦 第15章 冷戦と第三世界の独立	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦 1 戦後世界の形成とアジア諸地域の独立 2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 3 第三世界の台頭と米・ソの歩みより 4 石油危機と世界経済の再編	2 2 2 2	問題演習	期末考査
12	第16章 現在の世界	1 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3 地域紛争の激化と深刻化する貧困 4 現代文明の諸特徴	2 2 2	問題演習	終業式
1	センター対策 私大対策		2 2 2	問題演習	始業式
2	私大対策		2 2 2 2	問題演習	
3	私大対策			問題演習	卒業式

教科名	地理歴史科	科目名	日本史演習Ⅰ	単位数	5単位
対象学年	普通科文系 第3学年	履修形態	必修	授業形態	文系日本史B選択者
a. 科目の目標	日本史の歴史的流れを、世界史的視野から考察するとともに、律令制から荘園制の発展(2年次)、太閤検地、近世流通発達史、近代の産業革命、戦後の農地改革と財閥解体など、経済史的側面からのアプローチに重点を置きながら、政治史・文化史・(宗教)思想史を3本柱として学習を進める。全体として、根拠を明示する「実証」的姿勢を大切にするとともに、問題解決的な「実践」性を養いたい。				
b. 学習内容の概要	①近世、②近代・現代の流れを理解する。※近世、近代・現代は2学期までに終了。大学入試センター試験・私大受験・国公立大2次試験に対応するため、教科書終了後は総復習と問題演習に重点をおく。				
c. 学習方法	教科書、参考資料をフル活用し、講義スタイルで展開する。				
d. 評価方法	定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。				
e. 使用教材	①教科書「詳説日本史B」山川出版社 ②問題集「日本史B10分間テスト」山川出版社 ③ワーク「詳説日本史Bノート」山川出版社 ④担当者オリジナル受験対策テキスト「日本史の基礎と応用」など。				
f. その他	平日講習、夏期講習、冬期講習では授業を進める(前年比、単位削減分をここで補うこととする)。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項	
4	第3部 近世 第6章 幕藩体制の確立	①織豊政権と「天下」統一	5	「大航海時代と宗教改革」を概観し、織豊政権との関連を考える。「天下」の内実を分析し、幕藩体制の基本的構造を組織・法令・外交など総合的に理解したい。	始業式	
		②江戸幕府の成立	4		遠足・模試	
	③幕藩体制の基本構造[組織]	3	外交政策について、鎖国体制の完成まで年号形式でその内容を理解する。また、武断から文治政治へ。4代家綱～7代家継までの基本政策を把握する、など。		進研模試	
	④幕藩体制の基本構造[法令]	3			中間考査	
5	第7章 幕藩体制の展開	⑤幕藩体制の基本構造[外交]	4	享保の改革⇒田沼政治⇒寛政の改革⇒大御所政治⇒天保の改革について、それぞれの基本政策を理解する。百姓一揆についてはその前後との関連[土一揆と自由民権期の激化事件]で分析したい。	県総体	
		①幕政の安定について	3		模擬試験	
		②経済の発展	3		期末考査	
6	第8章 幕藩体制の動揺	③元禄文化とその思想	5	化政文化について、美術・文学・国学・洋学・儒学と経世思想をそれぞれ概観し、その特徴を理解したい。さらに、国学については尊王思想との関連も考えたい。	スポーツ祭	
		①享保の改革	4		進研模試	
		②百姓一揆概観	4		終業式	
		③田沼時代と寛政の改革	4		列強の接近に対する幕府の対応の中で下級武士が登場、政治運動の過程で尊王論と討幕論が結合する「流れ」を理解する。新撰組の歴史的位相にも注目する。	始業式
		④大御所政治と天保の改革	4			学校祭
7	第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	⑤諸藩の藩政改革	4	明治政府による神道国教化政策と対抗思想の脆弱性、啓蒙思想から自由民権思想へ、民権運動の敗北から憲法制定・初期議会、日清戦争の勝利まで複雑な流れをわかりやすく理解したい。	中間考査 模試	
		⑥化政文化[美術と文学]	3			
		⑦化政文化[国学と洋学]	4			
		⑧化政文化[儒学と経世思想]	4			
8	第10章 近代日本とアジア	⑨生活と信仰	4	1920年代の協調外交と、30年代の強硬外交と軍部の台頭について、対中国・朝鮮政策と関連付けて理解したい。	創立記念日 模試	
		①列強の接近と開国	5			
		②幕府の対応	5			
		③幕末～明治維新期の政治運動	5			
		④戊辰戦争と明治政府の成立	5			
9	第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の時代	⑤明治政府の諸政策	4	アジア・太平洋戦争の中で、日中全面戦争から対米英戦になぜ突入したのか、順を追って理解したい。また、戦後史は現代社会的視点も大切にしたい。	期末考査 模試 終業式 冬期講習	
		⑥啓蒙思想・士族反乱	4			
		⑦自由民権運動とその思想	4			
		⑧初期議会と条約改正	4			
10	センター試験直前対策 私大受験対策 私大受験対策 国立大2次試験対策	⑨朝鮮問題と日清戦争	4	センター対策・私大受験対策・国公立大2次試験対策。総復習を含め、政治史・経済史・文化史を中心に要点を整理する。	実力テスト センター 試験 入学試験	
		⑩日露戦争と明治内閣史	5			
		⑪近代産業の発展	5			
11	国立大2次試験対策 国立大2次試験対策 国立大2次試験対策	⑫明治の文化	5	記述式への全対応をめざす。おもに政治・経済史を中心に流れを理解し、かつ表現力も養う。	国立2次 試験	
		①大正デモクラシーと第一次大戦	5			
		②フシントン体制と協調外交	5			
12	国立大2次試験対策 国立大2次試験対策	③護憲三派内閣の成立	5		卒業式 特別授業 国立2次 試験	
		④軍部の台頭	5			
1	国立大2次試験対策 国立大2次試験対策	⑥第二次世界大戦と日本	5			
		①戦後内閣史整理 その1	5			
2	国立大2次試験対策 国立大2次試験対策	②戦後内閣史整理 その2	5			
			5			
3	国立大2次試験対策 国立大2次試験対策		5			
			5			

教科名	地理歴史科	科目名	日本史演習Ⅰ	単位数	5単位
対象学年	普通科総合進学・選択 第3学年	履修形態	必修	授業形態	日本史選択者
a. 科目の目標	日本史の歴史的流れを、世界的視野から考察するとともに、律令制から荘園制の発展(2年次)、太閤検地、近世流通発達史、近代の産業革命、戦後の農地改革と財閥解体など、経済史的側面からのアプローチに重点を置きながら、政治史・文化史・(宗教)思想史を3本柱として学習を進める。全体として、根拠を明示する「実証」的姿勢を大切にするとともに、問題解決的な「実践」性を養いたい。				
b. 学習内容の概要	①近世、②近代・現代の流れを理解する。※近世、近代・現代は2学期までに終了。大学入試センター試験・私大受験に対応するため、教科書終了後は総復習と問題演習に重点をおく。				
c. 学習方法	教科書、参考資料をフル活用し、講義スタイルで展開する。				
d. 評価方法	定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。				
e. 使用教材	①教科書「詳説日本史B」山川出版社				
f. その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	第3部 近世 第6章 幕藩体制の確立	①織豊政権と「天下」統一	5	「大航海時代と宗教改革」を概観し、織豊政権との関連を考える。「天下」の内実を分析し、幕藩体制の基本的構造を組織・法令・外交など総合的に理解したい。	始業式
		②江戸幕府の成立	5		遠足・模試
		③幕藩体制の基本構造[組織]	5		
		④幕藩体制の基本構造[法令]			
5	第7章 幕藩体制の 展開	⑤幕藩体制の基本構造[外交]	5	外交政策について、鎖国体制の完成まで年号形式でその内容を理解する。また、武断から文治政治へ。4代家綱～7代家継までの基本政策を把握する、など。	進研模試
		①幕政の安定について	5		中間考査
		②経済の発展	5		
6	第8章 幕藩体制の 動揺	①享保の改革	5	享保の改革⇒田沼政治⇒寛政の改革⇒大御所政治⇒天保の改革について、それぞれの基本政策を理解する。百姓一揆についてはその前後との関連[土一揆と自由民権期の激化事件]で分析したい。	県総体
		②百姓一揆概観	2		模擬試験
		③田沼時代と寛政の改革	3		
		④大御所政治と天保の改革	5		
		⑤諸藩の藩政改革	5		期末考査
7		⑥化政文化[美術と文学]	5	化政文化について、美術・文学・国学・洋学・儒学と経世思想をそれぞれ概観し、その特徴を理解したい。さらに、国学については尊王思想との関連も考えたい。	スポーツ祭
		⑦化政文化[国学と洋学]			進研模試
		⑧化政文化[儒学と経世思想]	5		終業式
8	第4部 近代・現代 第9章 近代国家の 成立	⑨生活と信仰	5	列強の接近に対する幕府の対応の中で下級武士が登場、政治運動の過程で尊王論と討幕論が結合する「流れ」を理解する。新撰組の歴史的位相にも注目する。	進学合宿
		①列強の接近と開国	5		中期講習
		②幕府の対応			後期講習
		③幕末～明治維新期の政治運動			始業式
9		④戊辰戦争と明治政府の成立		明治政府による神道国教化政策と対抗思想の脆弱性、啓蒙思想から自由民権思想へ、民権運動の敗北から憲法制定・初期議会、日清戦争の勝利まで複雑な流れをわかりやすく理解したい。	
		⑤明治政府の諸政策	5		
		⑥啓蒙思想・土族反乱	5		
		⑦自由民権運動とその思想	5		
		⑧初期議会と条約改正	5		
10		⑨朝鮮問題と日清戦争		明治内閣史を日清・日露戦争と関連付け、理解したい。また、大正デモクラシーの背景となった吉野作造・美濃部達吉の思想について分析する。	学校祭
		⑩日露戦争と明治内閣史	5		中間考査
		⑪近代産業の発展	5		模試
		⑫明治の文化	5		模試
11	第10章 近代日本と アジア	①大正デモクラシーと第一次大戦	5	1920年代の協調外交と、30年代の強硬外交と軍部の台頭について、対中国・朝鮮政策と関連付けて理解したい。	創立記念日
		②ワシントン体制と協調外交	5		模試
		③護憲三派内閣の成立	8		
		④軍部の台頭	7		
12	第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の時代	⑤第二次世界大戦と日本	5	アジア・太平洋戦争の中で、日中全面戦争から対米英戦になぜ突入したのか、順を追って理解したい。また、戦後史は現代社会的視点も大切にしたい。	期末考査
		①戦後内閣史整理 その1	5		模試
		②戦後内閣史整理 その2	5		終業式
1	センター試験直前対策 私大受験対策 私大受験対策 私大受験対策		5	センター対策・私大受験対策・国公立大2次試験対策。総復習を含め、政治史・経済史・文化史を中心に要点を整理する。	冬期講習
			5		実力テスト
			5		センター
			5		試験
2	私大受験対策 私大受験対策 私大受験対策 私大受験対策		5	記述式への全対応をめざす。おもに政治・経済史を中心に流れを理解し、かつ表現力も養う。	入学試験
			5		
			5		
			5		
3					卒業式
					特別授業

教科名	地歴科	科目名	日本史演習Ⅱ	単位数	2単位
対象学年	普通科文理選抜 第3学年	履修形態	選択	授業形態	私立文系選択者
a. 科目の目標	2年次に履修した日本史Bの内容をさらに発展させ、より高レベルの解説と難関私立大学の入試問題に対応できる実践力を問題演習を通して養成する。				
b. 学習内容の概要	原始・古代から近・現代までの問題演習中心				
c. 学習方法	教科書・ノート・図説を使用した演習方式				
d. 評価方法	定期考査による評価				
e. 使用教材	大学入試問題過去問題等 担当者作成オリジナルテキスト 『日本史10分間テスト』(山川出版社)				
f. その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	日本史演習	原始・古代史を中心とした演習	6	センター試験過去問題 駿台全国判定模試過去問題を使用	始業式 模擬試験 遠足
5	日本史演習	原始・古代史を中心とした演習	6	センター試験過去問題 進研マーク模試過去問題を使用	保護者会 中間考査 模擬試験
6	日本史演習	原始・古代史を中心とした演習	8	センター試験過去問題 進研総合学力記述模試過去問題を使用	県総体 進学講演 模擬試験
					期末考査
7	日本史演習	中世史を中心とした演習	6	センター試験過去問題 駿台全国判定模試過去問題を使用	スポーツ祭 懇談会 終業式
8	日本史演習	中世史を中心とした演習	2	同上	後期講習 模擬試験 始業式
9	日本史演習	中世史を中心とした演習	8	駿台・ベネッセ記述模試過去問題 駿台・ベネッセマーク模試過去問題を使用	模擬試験 学校祭
10	日本史演習	近世史を中心とした演習	8	センター試験過去問題 代ゼミセンタープレテスト 代ゼミ全国記述模試過去問題を使用	中間考査 数学検定 模擬試験
11	日本史演習	近世史を中心とした演習	8	センター試験過去問題 河合塾全国統一センタープレ過去問題を使用	創立記念日 模擬試験
12	日本史演習	近・現代史を中心とした演習	6	センター試験過去問、いわゆる赤本・Z会 緑本・代ゼミ白本等、フル活用する。	期末考査 懇談会 終業式 冬期講習
1	日本史演習	近・現代史を中心とした演習	6	同上	冬期講習 始業式 模擬試験
2	日本史演習	近・現代史を中心とした演習	8	私立大学過去問題集を使用	期末考査
3					卒業式 特別授業 模擬試験

科名	地理	科目名	地理B	単位数	3単位
対象学年	第3学年 普通科	履修形態	選択	授業形態	分割授業 (理系)
科目の目標	「現代世界の地理的事象を系統地理的、地読的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う」という指導要領に示されている目標が本科目の目標である。				
学習内容の概要	「自然と生活」「世界の諸地域」を2年時で、「グローバル化する現代世界」「地球的な課題」を3年時に…と2年間に渡って学習する。				
学習方法	科目の目標が達成できるように、また単なる知識の暗記に陥らないように生徒自らが「何故だろう」と絶えず発想し、興味を持って学習できるように工夫する。				
評価の観点・ 評価方法	知識の暗記だけではなく、発想の広がりを持った生徒を育てることに留意したい。 具体的な評価として、定期考査・各課題の提出状況・出席状況・授業中の態度等をもとに総合的に評価する。				
使用教材	帝国書院「新詳地理B」 帝国書院「新詳高等地図」		センター試験地理対応 パワーアップ整理と演習 帝国書院「地理統計」		
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第Ⅱ部世界の諸地域 ○州・大陸規模の地域の調査	○西アジア 中央アジア	3 3 3	・厳しい自然環境の様子やイスラム教を通じた民族の交流について理解させる。また、石油に依存する経済の様子と問題点についても考察させる。	始業式
5		○ヨーロッパ ○東南アジア	3 3 3	・EUの歩みから人やものの交流を理解させる。また、EU諸国の農業と工業の課題などについても考察させる。 ・東南アジアの民族・文化や農業などの特色と地域的差異を考察させ、ASEANの組織についても考察させる。	中間考査
6	第Ⅲ部グローバル化する現代社会 ○近隣諸国の研究	○韓国	3 3 3 3	・朝鮮半島の自然や民族・文化について日本との比較を通して考察させる。	期末考査
7		○中国	3 3 3	・中国の人々の生活(農・工中心)や政治・経済体制について考察させる。	終業式
8		○ロシア	3	・広大な国土をもつロシアに居住する様々な民族の生活について理解させる。	始業式
9	○結びつきを強める現代世界の課題のとらえ方 ○地図でとらえる現代社会	○国家・交通・通信・時差 ○貿易 ○南北問題	3 3 3 3	・国家の形態について理解させ、国境をめぐる諸問題について考察させる。 ・世界の交通網の地域差や情報社会における現状と課題について考察させる。 ・貿易に関する基礎的知識を定着させる。 ・生活の格差を地図化することで南北問題を捉えさせる。	
10	○地域区分でとらえられる現代世界の課題 第Ⅳ部地球的な課題 ○人口・食料問題	○アフリカ ○ラテンアメリカ ○中南アフリカ ○デンマーク	3 3 3 3	・アフリカやラテンアメリカの地域区分の事例を通して、その地域の概況や抱えている課題を考察させる。 ・発展途上国の人口・食料問題の事例として中南アフリカを、先進国のその事例としてデンマークをあげ、その現状と課題を考察させる。	中間考査
11	○都市・居住問題 ○環境・エネルギー問題	○ラゴス メキシコシティ ○ロンドン ○日本 ○様々な環境・エネルギー問題	3 3 3 3	・発展途上国の都市問題の事例として、ラゴス・メキシコシティを、先進国のその事例としてロンドンをあげ、現状と対策を考察させる。 ・日本のそれについても現状と問題点を考察させる。 ・環境破壊の具体的事例をあげ、その解決策を考察させる。	期末考査
12	○民族・領土問題	○民族・領土	3	・民族の多様性をめぐる諸問題について、その時代背景を重ね	終業式

	○総合的学習	○センター対策	3 3	合わせて考察させる。 ・問題演習	
1	○総合的学習	○センター対策	3 3 3	・問題演習	始業式
2	○総合的学習	○センター対策	3 3 3 3	・問題演習	終業式

教科名	公民	科目名	政治経済	単位数	2単位
対象学年	第3学年 普通科総合進学コース 普通科文理選抜コース私立文系	履修形態	必修	授業形態	G…一斉授業 Z私文系…分割授業
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸問題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	○現代の経済 ○現代の政治 ○現代社会の諸課題				
学習方法	教科書・整理ノートの活用をベースに、土台となる基礎的知識を学び、人間の社会生活を取り巻く様々な事象についての理解力を養う。新聞・ニュースなどを通して、時事的問題への関心を高め、自ら問題意識を持って進んで取り組むことのできる学習活動を展開する。				
評価の観点・ 評価方法	人間の社会生活そのものに関わってくる政治経済の分野への関心と、現代社会の諸問題を見つめ、よりよい社会の構築を目指そうとする姿勢に着目したい。 定期考査・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	数研出版「改訂版 政治・経済」				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	単	学習のポイント	主な行事
4	経済活動の意義と経済体制	①人間と経済活動 ②資本主義経済の発展と変容 ③経済活動の主体	2 2 2	・経済活動とは何かを理解する。 ・資本主義経済の基本的特徴と発展過程を学び、現代資本主義の特質を理解する。 ・三つの経済主体の果たす役割を理解する。	始業式
5	現代経済のしくみ	①市場経済のしくみ ②物価の動向 ③国民所得と経済成長	2 2 2	・市場経済のしくみを理解する。 ・国富と国民所得、国民総生産と経済成長、景気循環と対策等、基本的用語の意味を理解する。	中間考査
6		④財政のしくみと租税 ⑤金融のしくみと働き	2 2 2	・現代の福祉国家の観点から、財政の役割を考え、現実の財政の歳入・歳出がどうなっているのかを考察する。 ・金融のしくみを学び、日本銀行の金融政策を通じた景気調整、金融の自由化について理解する。	進路合宿 期末考査
7	日本経済と福祉の向上	①戦後日本経済の歩み ②中小企業と農業・食料 ③公害防止と環境保全	2 2 2	・戦後の日本経済の変化の要因や影響、対策について理解する。 ・経済のソフト化、サービス化が進行していること、日本経済の二重構造について理解する。 ・高度成長期と現在の日本農業の状況を理解する。 ・公害の発生原因について考察するとともに、環境保全に対する意識を高める。	終業式
8		④消費者問題と消費者保護	2	・消費者保護に対する消費者、企業、行政の責任と役割について明らかにし、消費者としての自覚を高める。	始業式
9	国民経済の動向	⑤労使関係と労働市場 ⑥少子高齢化と社会保障 ①貿易と国際収支 ②国際経済のしくみ	2 2 2 2	・労働運動がどうしておこったのかを、「人間の生存」という観点から理解する。 ・労働三権と労働三法について理解する。 ・社会保障制度の歴史、主な国と日本の現状を学び、今後の課題を考察する。 ・国民経済と国際経済の違いを理解し、自由貿易が果たした役割を考察し、また、国際収支表の構成がどうなっているのかを理解する。 ・GATT、IMFなどの国際経済機関が、どのような背景から設立され、その目的・機能が果たせたかを理解する。	

				・地域的経済統合の現状と今後の見通しについて考察する。	
10	国際経済の課題と国際協力 民主政治の基本 原理	①地球環境と資源エネルギー問題 ②発展途上国の経済と経済協力 民主政治の基本原則 ③国際経済における日本 ①政治と法 ②民主政治のあゆみ ③民主政治の基本原則とその展開 ④政治体制の比較	2 2 2 2	・現代世界の資源・エネルギー問題に対して、どのような対策があるのかを考察する。 ・地球規模の環境問題の事例を明らかにし、その対策として何が必要なかを考察する。 ・南北問題の原因について考え、その解決に向けてどのような取り組みがなされてきているのかを考察する。 ・発展途上国内の格差(南南問題)がなぜ生じてきたのかを理解するとともに、望ましい援助のあり方について考察する。 ・日本経済の発展と国際化の進展について、両者を関連させながら理解する。 ・今後、世界経済の中で日本の果たすべき役割について考察する。 ※一年次に学習した「現代社会」の内容をベースに振り返りつつ、それぞれの内容の重要ポイントを確認し、問題意識をもって社会の動きを見つめ、諸課題について主体的に追求していく姿勢を養う。	中間 考査
11	日本国憲法と基本的人権 日本の政治機構 政治参加と民主政治の課題	①日本国憲法の基本的性格 ②基本的人権の保障 ③日本国憲法の平和主義 ①国会のしくみと役割 ②内閣と行政機構 ③裁判所のしくみと人権保障 ④地方自治のしくみと住民生活 ①戦後政治と政党 ②選挙制度の仕組み ③世論と情報化社会	2 2 2 2	※一年次に学習した「現代社会」の内容をベースに振り返りつつ、それぞれの内容の重要ポイントを確認し、問題意識をもって社会の動きを見つめ、諸課題について主体的に追求していく姿勢を養う。	期 末 考 査
12	国際政治の動向 国民社会と日本の役割	①国際社会の特質 ②国際社会と国際法 ③国際社会の組織化 ①核兵器の廃絶と軍縮問題 ②地域紛争と人種・民族問題 ③日本の国際的地位と役割	2 2 2	※一年次に学習した「現代社会」の内容をベースに振り返りつつ、それぞれの内容の重要ポイントを確認し、問題意識をもって社会の動きを見つめ、諸課題について主体的に追求していく姿勢を養う。	終 業 式
1	現代社会の諸課題	総まとめ	2 2 2	※いくつかの項目を選択して、意見交換をすることによって、よりよい社会の構築を目指そうとする姿勢を養う。	始 業 式 卒 業 考 査
2	現代社会の諸課題	総まとめ	2 2 2 2	※いくつかの項目を選択して、意見交換をすることによって、よりよい社会の構築を目指そうとする姿勢を養う。	

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	単位数	6 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学 文理選抜	履修形態	必修	授業形態	特進・文理選抜 理系 選択
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	複素数平面、式と曲線について学習する。極限、連続関数の概念をつかみ、無限級数の収束・発散について学習する(極限)。さまざまな初等関数の微積分を扱い、高階導関数とグラフ、部分積分や置換積分を学ぶ(微分・積分)。基本事項を早めに習得し、高校数学全般の演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	数研出版 数学Ⅲ 自主教材				
その他	特進は、平日の課外学習(80分)で、授業を終えた範囲の演習、3週に2回の土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	複素数平面	複素数平面 数列の極限	6 6 6	複素数平面、極形式と乗法除法 ド・モアブルの定理 複素数と図形	始業式
5	式と曲線	2次曲線 関数の極限	6 6 6	放物線、楕円、双曲線 平行移動、2次曲線と直線 2次曲線の性質	中間考査
6	関数	媒介変数表示と極座標 関数	6 6 6 6	曲線の媒介変数表示 極座標と方程式、いろいろな曲線 分数関数、無理関数	進路合宿 期末考査
7	極限	数列の極限	6 6 6	逆関数と合成関数 数列の極限、無限等比級数 無限級数	終業式 夏期講習
8	微分法	関数の極限 微分法	6	関数の極限、三角関数と極限 関数の連続性 微分係数と導関数、導関数の計算	始業式
9	微分法の応用	導関数の応用	6 6 6 6	いろいろな関数の導関数 接線と法線、平均値の定理 関数の変化、最大最小、グラフ	
10			6 6 6 6	方程式不等式への応用	中間考査
11	積分法 積分法の応用	速度と近似式 不定積分 定積分 面積	6 6 6 6	速度と加速度、近似式 不定積分、置換積分、部分積分 定積分、置換、部分 面積、体積	
12			6 6 6	曲線の長さ、速度と道のり センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
1			6 6 6	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			6 6 6 6	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3			6	個別試験対策演習	卒業式

教科名	数学	科目名	数学演習 I	単位数	6 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学 文理選抜	履修形態	必修	授業形態	特進理系/文理理系
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験およびセンター試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	自主教材				
その他	特進は、平日の課外学習(80分)で、授業を終えた範囲の演習、3週に2回の土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	数学演習	数学演習	6 6 6	数学演習 数学演習 数学演習	始業式
5			6 6 6	数学演習 数学演習 数学演習	中間考査
6			6 6 6 6	数学演習 数学演習 数学演習 数学演習	進路合宿
7			6 6 6	数学演習	期末考査 終業式 夏期講習
8	数学センター対策 演習		6	数学センター対策 演習	始業式
9		数学センター対策 演習	6 6 6 6	数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習	
10			6 6 6 6	数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習	中間考査
11			6 6 6 6	数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
12			6 6 6	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
1			6 6 6	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			6 6 6 6	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3			6	個別試験対策演習	卒業式

教科名	数学	科目名	数学演習Ⅱ	単位数	5 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学 文理選抜	履修形態	必修	授業形態	特進文系/文理文系
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験およびセンター試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	自主教材				
その他	特進は、平日の課外学習(80分)で、授業を終えた範囲の演習、3週に2回の土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学演習	数学演習	5 5 5	数学演習 数学演習 数学演習	始業式
5			5 5 5	数学演習 数学演習 数学演習	中間考査
6			5 5 5 5	数学演習 数学演習 数学演習 数学演習	進路合宿
7			5 5 5	数学演習	期末考査 終業式 夏期講習
8	数学センター対策 演習		5	数学センター対策 演習	始業式
9		数学センター対策 演習	5 5 5 5	数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習	
10			5 5 5	数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習	中間考査
11			5 5 5 5	数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
12			5 5 5	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
1			5 5 5	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			5 5 5 5	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3			5 5	個別試験対策演習 個別試験対策演習	卒業式

教科名	数学	科目名	数学演習Ⅲ	単位数	3 単位
対象学年	第3学年(普通科) 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験およびセンター試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	数学ⅠA分野を中心に、演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学ⅠA演習	数学ⅠA演習	3 3 3	数学ⅠA演習 数学ⅠA演習 数学ⅠA演習	始業式
5			3 3	数学ⅠA演習 数学ⅠA演習 数学ⅠA演習	中間考査
6			3 3 3 3	数学ⅠA演習 数学ⅠA演習 数学ⅠA演習 数学ⅠA演習	進路合宿
7			3 3 3	数学ⅠA演習	期末考査 終業式 夏期講習
8	数学ⅠAセンター対策 演習		3	数学ⅠAセンター対策 演習	始業式
9		数学ⅠAセンター対策 演習	3 3 3 3	数学ⅠAセンター対策 演習 数学ⅠAセンター対策 演習 数学ⅠAセンター対策 演習 数学ⅠAセンター対策 演習	
10			3 3 3	数学ⅠAセンター対策 演習 数学ⅠAセンター対策 演習 数学ⅠAセンター対策 演習	中間考査
11			3 3 3 3	数学ⅠAセンター対策 演習 数学ⅠAセンター対策 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
12			3 3 3	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
1			3 3 3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			3 3 3 3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3			3 3	個別試験対策演習 個別試験対策演習	卒業式

教科名	数学	科目名	数学演習Ⅳ	単位数	3 単位
対象学年	第3学年(普通科) 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験およびセンター試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	数学ⅠA分野を中心に、演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学演習	数学演習	3 3 3	数学演習 数学演習 数学演習	始業式
5			3 3	数学演習 数学演習 数学演習	中間考査
6			3 3 3 3	数学演習 数学演習 数学演習 数学演習	進路合宿
7			3 3 3	数学演習	期末考査 終業式 夏期講習
8	数学センター対策 演習		3	数学センター対策 演習	始業式
9	数学センター対策 演習		3 3 3 3	数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習	
10			3 3 3 3	数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 数学センター対策 演習	中間考査
11			3 3 3 3	数学センター対策 演習 数学センター対策 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
12			3 3 3	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
1			3 3 3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			3 3 3 3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3			3 3	個別試験対策演習 個別試験対策演習	卒業式

教科名	理科	科目名	科学と人間生活	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科文理選抜(私立文系)	履修形態	必修	授業形態	単独、分割
科目の目標	自然科学の一般的な教養を身につけさせることを目標にしている				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う				
学習方法	視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書 高等学校 改訂 科学と人間生活 第一学習社、副教材 改訂 ネオパルノート科学と人間生活 第一学習社				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出をさせる。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第 I 編 科学技術の発展	1. 情報伝達の発展 2. エネルギー資源の活用と交通手段の発展 3. 医療技術の発展	21	・科学技術の発展が今日の生活を豊かで便利にしてきたことに貢献し、社会の変化に影響を与えてきたことを、身近な科学技術の例から理解する。	中間考査
5	第 II 編 人間生活の中の科学	①プラスチックの特徴 ②プラスチックのなりたち ③プラスチックの分類と用途 ④さまざまなプラスチック ⑤金属と人間生活 ⑥金属の種類 ⑦金属の製錬とさび ⑧資源の再利用		・プラスチックの原料と、特徴について理解する。 ・原子の構造、共有結合とその種類、分子の表し方について、科学的な知識を身につける。 ・プラスチックの性質と用途について、理解する。 ・金属結合と金属の性質について認識する。主な金属の種類とその性質について、理解する。 ・材料の再利用方法に関心を抱き、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身に付ける。	
6	第1章 物質の科学 材料とその利用	①さまざまな微生物 ②微生物の発見 ③生態系内の微生物 ④発酵食品の利用 ⑤医薬品への利用 ⑥これからの微生物利用	16	・私たちの身の回りには、多種多様の微生物が生息していることを理解する。 ・微生物の発見が、過去の多くの科学者による科学的な探求によって進められたことを理解する。 ・生態系内に存在する微生物に関心を抱き、それらの役割について理解する。 ・微生物による発酵によって、食品や有用物質が作られていることを理解する。 ・我々が使用する医薬品の開発にも微生物が関与していることを理解する。 微生物を利用する新しい研究が進んでいることを理解する。	期末考査
7	第2章 生命の科学 微生物の利用	①温度と熱運動 ②熱容量と比熱 ③熱の伝わり方 ④仕事や電流 ⑤エネルギーの移り変わり ⑥エネルギー資源の利用		・温度変化は熱運動によって起こることについて理解する。 ・熱量と温度変化の関係を表した公式を理解する。 ・熱の伝わり方について、そのしくみについて、科学的に理解する。 ・身近にみられる仕事や電気も熱と同じくエネルギーの一種であることを理解し、様々なエネルギーが熱に移り変わっていくことを理解する。 ・新しいエネルギー利用について学ぶと共に、これからの環境問題について学習する。	
8	第3章 熱や光の科学 熱の性質とその利用	①日本列島の景観 ②火山活動と地表の変化 ③地震活動と地表の変化 ④水の働きと地表の変化 ⑤火山災害と防災 ⑥地震災害と防災		・日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のプレートの動きについて科学的に理解する。 ・火山噴出物、噴火の原因、火山の形とマグマの関連性について、論理的に思考する。 ・地震の発生のしくみや、日本列島の地震活動とプレートとの関連性について、科学的に理解できる。 ・河川の働きや海水の働きによって形成された地形について、科学的にその形成のようすを表現する。 ・火山・地震・気象災害と防災について意欲的に学習し、自然災害による被害や二次災害、また防災について、科学的・論理的に理解し、的確に表現できる。	
9	第4章 地球や宇宙の科学 身近な自然景観と自然災害	①課題の設定と研究の進め方 ②研究の課題例	14	・課題を設定し研究を進める手順について学習する。	卒業考査
10	第 III 編 これからの科学 と人間生活				
11					
12					
1					
2					
3					

教科名	芸術(音楽)	科目名	音楽 I	単位数	2単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	音楽の幅広い活動を通じて、音楽を愛好する心情を育成するとともに、感性を高め、創造的表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
学習内容の概要	1. 芸術歌曲(言語に親しむ) 2. 日本音楽(箏) 3. 合唱を楽しく歌う 4. 鑑賞 5. 創作				
学習方法	・歌唱の基本である発声の工夫 ・原語に親しむ ・箏の奏法を学び合奏する ・合唱における表現の工夫 ・日本の音楽や諸外国の音楽を通じて、そのよさや美しさを聴く ・作曲する楽しさを知る				
評価の観点・ 評価方法	・音楽への「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「技能・表現」、「知識・理解」の観点により評価する。 ・評価の方法としては規定に従い考查の成績と歌唱、器楽の実技、ノート(写譜・鑑賞まとめ/楽理)、プリント提出状況、学習への参加態度などを各学期ごとにまとめ、また、授業中の学習態度、出席状況について考慮し総合的に評価する。				
使用教材	「高校生の音楽1」(教育芸術社)、ミュージックノート、プリント、CD、ビデオ、LD、DVD				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	校歌	校歌 応援歌 I、II 校訓の歌 松蔭小唄	6	歌詞の内容を理解し、愛唱歌として歌うことができるようにする。	始業式
5	歌曲	我が太陽、恋しき君、野ばら、 五月の歌	6	原語に親しみ、楽曲の歴史的背景を学び、それぞれの歌詞及び曲想の把握と表現の工夫をする。	
6	合唱	世界に一つだけの花 夏の思い出 ふるさと 翼をください シャル・ウィ・ダンス 虹の彼方に	14	合唱の表現力を高め、進んで合唱に親しもうとする意欲を育てる。	期末考查
7					終業式
8	日本伝統音楽	三味線、箏曲の基本的なことについて学ぶ。	18	箏に触れ、調弦(平調子)方法や奏法を学び、日本古謡を合奏し表現の工夫をする。	始業式
9					
10					
11	鑑賞	交響曲第9番「合唱つき」、 「サウンド・オブ・ミュージック」 交響詩「魔法使いの弟子」 ボレロ	8	さまざまなクラシック音楽に触れ、楽曲の構成や要素を学ぶ。	
12	創作	アド・リブにチャレンジ、BGMを作	6	旋律に対する和音の工夫をする。	期末考查 終業式
1	世界の歌、日本の歌	世界のさまざまな音楽に親しむ。 各曲の特徴について理解する。 アリアン、アニーローリー、 ラブ・ミー・テンダー、エーデルワイ ソーラン節、赤とんぼ、浜辺の歌 待ちぼうけ、さくら	14	曲の背景にある意味や文化に対する興味、関心を高める。	始業式
2					卒業考查
3					卒業式

教科名	外国語(英語)	科目名	コミュニケーション 英語Ⅲ	単位数	3単位
対象学年	第3学年 普通科 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	著者の意向などを理解する能力を伸ばすとともに、英語を理解しようとする積極的な態度を育てる。				
学習内容の概要	まとまりのある文章の概要や要点を読みとり、自分の考えなどを話したり、書いたり、まとめたりする。				
学習方法	教科書を中心に、読解力・英語による表現力を身につける。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	MY WAY English Communication III (三省堂) MY WAY English Communication III ワークブック(三省堂)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	MY WAY III Unit 1	Reading Skill 1 Reading Skill 2 Reading Skill 3	3 3 3	主語・動詞を意識して読む フレーズリーディング 代名詞の示すものを意識して読む	始業式
5		Reading Skill 4 Reading Skill 5 Reading Skill 6	3 3 3	未知語を推測する パラグラフの構成 ディスコースマーカー列挙・提示	中間考査
6		Reading Skill 7 Reading Skill 8 Reading Skill 9 Reading Skill 10	3 3 3 3	ディスコースマーカー時間的順序 ディスコースマーカー比較・対照 ディスコースマーカー原因・結果 スキミング	期末考査
7		Reading Skill 11 1学期のまとめ	3 3 3	スキヤニング	終業式 夏期補習
8	Unit 2 Lesson 1	Narrow Boats in Britain	3	Reading Skillsを用いて… エッセイを読む	始業式
9	Lesson 2 Lesson 3	A Miraculous Pianist iPS Cells	3 3 3	人物伝を読む 論説文を読む	
10	Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	Roman Baths The Leap Week Calendar Digital Books vs. Printed Books	3 3 3	エッセイを読む 論説文を読む ディベートを読む	中間考査
11	Lesson 7 Lesson 8 Unit 3	Buckwheat around the World A Message from Small Creatures	3 3 3	論説文を読む 論説文を読む	
12	Lesson 9 Lesson 10	Aung San Suu Kyi The Wonders of Memory	3 3 3	人物伝を読む 論説文を読む	期末考査 終業式
1	Lesson 11 Lesson 12	The Voting Age in Japan A Moment Makes a Great Difference	3 3 3	ディベートを読む エッセイを読む	始業式 卒業考査
2	Lesson 13 Lesson 14	Media Literacy A Variety of "Englishes"	3 3 3	論説文を読む 論説文を読む	
3					卒業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語表現 I	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学年 普通科 文理選抜コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	① 情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと。 ② この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定する。その場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くこと。				
学習方法	聞くこと、話すことおよび読むことも有機的に関連付けた活動を行いながら、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように学習する。				
評価の観点・評価方法	1 学期・2 学期・3 学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の 4 項目各 5 点で評価する。				
使用教材	Vision Quest English Expression I Standard - Keirinkan				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson 1	Let's have lunch together sometime.	2 2 2	Introductions Intonation Backchannel responses Types of sentences	始業式 新入生合宿
5	Lesson 2	Are you interested in Japanese anime?	2 2 2 2	Interests Rhythm Rephrasing Changing the subject Sentence patterns and verbs	中間考査
6	Lesson 3	I'm going to Okinawa with my family.	2 2 2 2	Travel Vowels Making plans / scheduling Tense	期末考査
7	Lesson 4	I hear you've joined the soccer team.	2 2 2	Sports Consonants Stating causes or reasons Perfect aspect	終業式
8	Lesson 5	Can you tell me what ammitsu is like?	2	Eating out Katakana words Asking for permission Asking favors Auxiliary Verbs	始業式
9	Lesson 6	I'm so glad I can see the Sydney Opera House.	2 2 2 2	Sightseeing Pronunciation of numbers Expressing pleasure / surprise Passive voice	
10	Lesson 7	It's very nice of you to say so.	2 2 2 2	Socializing Word stress Thanking Apologizing Infinitives	中間考査
11	Lesson 8	How about going to see a musical?	2 2 2 2	Pastimes Sound links Inviting someone Making offers Gerunds	期末考査
12	Lesson 9 Lesson 10	I'm for school uniforms. How do you spend Christmas?	2 2 2	Rules Agreeing / Disagreeing Participles Cultures Explaining Relative clauses	終業式
1	Lesson 11 Lesson 12	Did you watch the debate on TV last night? I wish my parents were more understanding.	2 2 2	Social problems Asserting Comparison Personal problems Giving advice Subjunctive	始業式
2	Exercise Lesson	Exercises for entrance examinations	2 2 2		
3					卒業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語表現 I	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	①英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 ②英語を通じて情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につける。				
学習内容の概要	教科書及びその関連した言語材料を用い、4領域を総合的、有機的に関連付けたコミュニケーション活動を行う。				
学習方法	文法事項の形態から伝達の意味内容に発展できるように、運用すべく多くの場面を通して生きた英語運用能力を身に付ける。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	Grove English Expression I (文英堂) Grove English Expression I ワークブック (文英堂)				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson 1, 2	新しい学年が始まります／ 親友を紹介します	2 2 2	第1, 2, 3文型の確認をし、 英作文をする。	始業式 新入生合宿
5	Lesson 3, 4	起きなさい／よい週末を	2 2 2	現在形、過去形、未来形、 現在進行形の復習をし、 英作文をする。	中間考査
6	Lesson 5, 6	メールで連絡することが できます／どんな町に住んで いますか	2 2 2	助動詞、副詞節、Itの用法の 復習をし、英作文をする。	
7	Lesson 7, 8	夏が来ました／何か変わった ことがありましたか	2 2 2	第4, 5文型、受け身、There 構文を確認し、英作文をする。	期末考査 終業式
8	Lesson 9	何を読んでいますか	2 2	現在完了形の復習をし、 英作文をする。	始業式 実力テスト
9	Lesson 10, 11	お昼を食べましょう／ スポーツは好きですか	2 2 2	現在完了進行形、比較 の復習をし、英作文をする。	
10	Lesson 12, 13	ペットを飼っていますか／ 趣味は何ですか	2 2 2	分詞、不定詞の復習をし、 英作文をする。	中間考査
11	Lesson 14, 15	旅行は楽しい／ これを買います	2 2 2	動名詞、SV0の復習をし、 英作文をする。	
12	Lesson 16	外で食事しよう	2 2 2	疑問詞 to do, too~to doの 復習をし、英作文をする。	期末考査 終業式
1	Lesson 17, 18	環境をまもろう／ 映画は好きですか	2 2 2	形式主語it, SV0 to do、 関係代名詞の復習をし、 英作文をする。	始業式 実力テスト
2	Lesson 19, 20	冬が来ました／ 試験の準備はできましたか	2 2 2	関係副詞、仮定法過去の 復習をし、英作文をする。	期末考査
3					終業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語演習 I	単位数	2単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース		履修形態	必修	授業形態 一斉授業
科目の目標	① 大学入試に必要な英語基礎の再構築 ② 大学入試問題に対する実践力の育成				
学習内容の概要	演習問題を通して、高校英語の総復習・総確認するとともに、更なる知識・技術を身につける。				
学習方法	英語の文法・慣用表現・長文読解の問題を演習する。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	●英文法ファイナル問題集 標準編（桐原書店） 夢をかなえるリスニング① センター準備編（アルク）				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	UNIT ONE	問題演習	2	結論をとらえる	始業式 新入生合宿
		問題演習	2		
5	UNIT TWO	問題演習	2	様々な展開パターン	中間考査
		問題演習	2		
6	UNIT THREE	問題演習	2	様々な展開パターン	進学講習 期末考査
		問題演習	2		
7			2		終業式
			2		
			2		
8	UNIT FOUR	問題演習	2	文の論理的なつながり	始業式
9		問題演習	2	追加、逆接、対比	
		問題演習	2		
		問題演習	2		
10	入試問題演習	実践問題演習	2	センター試験対策演習	中間考査
			2		
			2		
			2		
11	入試問題演習	実践問題演習	2	センター試験対策演習	期末考査
			2		
			2		
			2		
12	入試問題演習	実践問題演習	2	センター試験対策演習	終業式
			2		
			2		
1	入試問題演習	実践問題演習	2	センター試験対策演習	始業式・実力テスト
			2		
			2		
2	入試問題演習	合格答案への実践練習	2	各受験大学の出題傾向にあわせた演習を中心に学習する	
			2		
			2		
			2		
3					卒業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語演習 I	単位数	3単位
対象学年	第3学年 普通科 文理選抜コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	① 大学入試に必要な英語基礎の再構築 ② 大学入試問題に対する実践力の育成				
学習内容の概要	演習問題を通して、高校英語の総復習・総確認するとともに、更なる知識・技術を身につける。				
学習方法	英語の文法・慣用表現・長文読解の問題を演習する。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	●副教材：チャート式新々総合英語（数研出版） 夢をかなえるリスニング②センター標準編（アルク） 進研【センター試験】対策英語重要問題演習（英語）				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	●演習	●問題集の演習	9	●英文法復習 ●慣用表現の習得	始業式 新入生合宿
5	●演習	●問題集の演習	3 3 3 3	●英文法復習 ●慣用表現の習得	中間考査
6	●演習	●問題集の演習	3 3 3 3	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	期末考査
7	●演習	●問題集の演習	3 3 3	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	終業式
8	●演習	●問題集の演習	3 3	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	始業式
9	●演習	●問題集の演習	3 3 3 3	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	
10	●演習	●問題集の演習	3 3 3 3	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	中間考査
11	●演習	●問題集の演習	3 3 3 3	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	期末考査
12	●演習	●問題集の演習	3 3 3	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	終業式
1	入試問題演習	実践問題演習	3 3 3	センター試験対策演習	始業式
2	入試問題演習	合格答案への実践練習	3 3 3 3	各受験大学の出題傾向にあわせた演習を中心に学習する	
3					卒業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語演習Ⅱ	単位数	4単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	① 大学入試に必要な英語基礎の再構築 ② 大学入試問題に対する実践力の育成				
学習内容の概要	演習問題を通して、高校英語の総復習・総確認するとともに、更なる知識・技術を身につける。				
学習方法	英語の文法・慣用表現・長文読解の問題を演習する。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	●副教材：発展英語長文（日栄社） 夢をかなえるリスニング②センター標準編（アルク） 進研【センター試験】対策英語重要問題演習（英語）				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	●演習	●問題集の演習	12	●英文法復習 ●慣用表現の習得	始業式 新入生合宿
5	●演習	●問題集の演習	4 4 4 4	●英文法復習 ●慣用表現の習得	中間考査
6	●演習	●問題集の演習	4 4 4 4	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	期末考査
7	●演習	●問題集の演習	4 4 4	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	終業式
8	●演習	●問題集の演習	4	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	始業式
9	●演習	●問題集の演習	4 4 4 4	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	
10	●演習	●問題集の演習	4 4 4 4	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	中間考査
11	●演習	●問題集の演習	4 4 4 4	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	期末考査
12	●演習	●問題集の演習	4 4 4	●長文読解 ●英文法復習 ●慣用表現の習得	終業式
1	入試問題演習	実践問題演習	4 4 4	センター試験対策演習	始業式
2	入試問題演習	合格答案への実践練習	4 4 4 4	各受験大学の出題傾向にあわせた演習を中心に学習する	
3					卒業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語演習Ⅱ	単位数	3単位
対象学年	第3学年 普通科文理選抜コース 私立文系	履修形態	選択	授業形態	一斉授業
科目の目標	①基礎から2次試験対策も視野に入れた英語表現力の獲得 ②センター試験も視野に入れた英語読解力の獲得 ③オールイングリッシュによる問答・ディスカッション				
学習内容の概要	受験に必要な英語能力の獲得を視野に入れつつ、包括的な英語能力の獲得を目指す。				
学習方法	①短いトピックを読んで、設問に答える。 ②互いの意見を交換し合うグループワーク				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目で評価する。				
使用教材	スクランブル英文法・語法 Basic / リーディング素材				
その他	自学課題教材(実用英語検定)				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 3 3	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	始業式
5	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 2 3 3	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	中間考査
6	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 3 3 2	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	期末考査
7	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 3 3	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	終業式
8	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 3	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	始業式
9	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 3 3 3	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	
10	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 2 3 3	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	中間考査
11	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 3 3 2	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	期末考査
12	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 3	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	終業式
1	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 3 3	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	始業式
2	英文法・語法／ リーディング	英文法・語法復習／長文読解 ／英作文／ディスカッション	3 3 3	重要表現・語彙・文法の確認 ／素早く内容をつかむ／英語 で意見を言う・聴く・書く	
3					卒業式 終業式

教科名	商業	科目名	文書デザイン	単位数	2単位
対象学年	第3学年 総合進学	履修形態	選択	授業形態	実習
科目の目標	① 文書作成ソフトを活用し、効果的な文書を作成する。 ② 文書作成にかかわる技術や専門知識を習得する。 ③ タッチタイピングの技術を習得する。 ④ 文書作成ソフトの様々な機能を習得し、活用できるようにする。				
評価の観点・ 評価方法	① 授業中の課題・実習などの提出状況及びその内容。 ② 出欠状況及び授業に対する取り組み方。 ③ 定期考査の得点。				
使用教材	Word演習問題集				
その他	① 希望者は全商ビジネス文書検定合格を目指させる。				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	キーボードの操作	キーボードと指の分担 ファンクションキー 数字・記号・特殊文字 漢字変化・保存・印刷	6	コンピュータの起動から終了までの基本的な操作と、簡単な文字の入力保存・印刷の操作を学習する。	始業式
5	文書の編集	文字の修正・移動・コピー ページレイアウトの設定 文字書式 段落書式	6	基本的な操作と、それを活用した文書の作成をする。 基本的な作表機能を学習し、習得させる。 応用的な作表技術を学習し、習得させる。	中間考査
6	表の作成と編集	インデント タブとリーダー 簡条書きと段落番号 表作成	8		期末考査
7		表の編集	6		ビジネス文書検定 終業式
8		表の編集	2		始業式
9		表の編集	8		
10	グラフィックス	テキストボックス 図形の作製 ワードアート クリップアート	8	様々なグラフィックスを学習し、効果的な文書を作成できるようにする。	中間考査
11	書式設定	文字列とオブジェクトの配置 ドロップキャップ 書式スタイル 段組み	8	様々な編集機能を学習し、効果的な文書を作成できるようにする。	ビジネス文書検定 期末考査
12	図表とグラフ	セクション区切り SmartArt グラフィック グラフの作成	6	与えられたデータを参考にし、Excelを活用したグラフの作成をする。	終業式
1	表紙	表紙の作成 ヘッダーとフッター 目次 検索と置換	6	目的に応じたさまざまな文書の作成ができるようにする。	始業式
2			8		期末考査
3					終業式

教科名	理科	科目名	科学と人間生活	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	自然科学の一般的な教養を身につけさせることを目標にしている				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う				
学習方法	演示実験や視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書 高等学校 科学と人間生活 第一学習社、副教材 改訂ネオパルノート科学と人間生活 第一学習社				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出をさせる。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第Ⅰ編 科学技術の発展	1. 情報伝達の発展 2. エネルギー資源の活用と交通手段の発展 3. 医療技術の発展	6	科学技術の発展が今日の生活を豊かで便利にしてきたことに貢献し、社会の変化に影響を与えてきたことを、身近な科学技術の例から理解する。	始業式
5	第Ⅱ編 人間生活の中の科学	衣料と食品 ①身近な繊維 ②繊維の構造と染色 ③天然繊維 ④化学繊維	14	(1) 衣服などに用いられる繊維の分類や性質などを学ぶ。 (2) 繊維の染まりやすさが、繊維の構造に関係していることを学ぶ。 (3) 天然繊維の構造や性質、用途などを学ぶ。 (4) 化学繊維の種類や性質、用途などを学ぶ。	中間考査
6	第1章 物質の科学	⑤食品中のおもな栄養素 ⑥炭水化物 ⑦タンパク質 ⑧脂質とその他の栄養素		(5) 生命活動に必要な栄養素を食品から得ていることを学ぶ。 (6) 炭水化物の分類と構造、性質、はたらきなどを学ぶ。 (7) タンパク質の構造や性質、はたらき、様出反応などを学ぶ。 (8) 脂質の構造とはたらき、その他の栄養素の種類やはたらきなどを学ぶ。	
7	第2章 生命の科学	微生物とその応用 ①身近な微生物 ②微生物の発見 ③生体内の微生物(1)(2) ④食品と微生物(1)(2) ⑤医療品と微生物 ⑥微生物の利用と広がりへの利用 ⑦医薬品への利用 ⑧これからの微生物の利用	16	(1) 微生物と人間生活との関わりを論理的に思考し、細菌について科学的に理解する (2) 微生物の発見、自然発生説の否定、などの研究について、科学的、論理的に理解する。 (3) 微生物による自然浄化を理解し、分解者や生産者としてはたらく微生物の存在を理解する。 (4) 身近にみられる発酵食品に関心をもち、微生物のはたらきを論理的に思考する。 (5) 病気の予防法・治療法の進歩に興味をもち、医薬品をはじめとする人間生活への貢献を科学的に理解する。	期末考査 終業式
8					始業式
9					
10	第3章 熱や光の科学	熱の性質とその利用 ①温度と熱運動 ②熱容量と比熱 ③熱の伝わり方 ④仕事や電流と熱の発生 ⑤エネルギーの移り変わり ⑥熱の仕事への変換 ⑦エネルギー資源の有効活用	22	(1) 温度について理解し、熱運動や比熱などの知識を身に付ける。 (2) 熱伝導のしくみについて理解し、状態変化と潜熱の概念についての知識を習得する。 (3) 仕事や熱とエネルギーの関係について、物理の考え方をいながら理解する。 (4) さまざまなエネルギーの形態やエネルギー保存の法則について、関心をもちて学習する。 (5) 省エネルギーの試みや、代替エネルギーの開発について関心をもちて知識を習得する。	中間考査
11					期末考査
12					
1	第4章 地球や宇宙の科学	身近な自然景観と自然災害 ①日本列島のなりたち ②火山や地震の活動と地表変化 ③水の働きと地表の変化 ④火山や地震の災害と防災 ⑤気象災害と防災	14	(1) 日本列島の特徴と、日本列島付近のプレートの動きについて科学的に理解する。 (2) 火山活動の原因や、地震発生のしくみについて、論理的に思考する。 (3) 河川の働きや海水の働きによって形成された地形について、科学的に形成のようすを考察する。 (4) 火山・地震・気象災害と防災について学習し、自然災害による被害や二次災害、また防災について科学的・論理的に理解し、的確に表現する。	始業式 卒業考査
2					
3					

教科名	理科	科目名	物理	単位数	4 単位	
対象学年	第3学年 普通科理系物理選択		履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の物理分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。					
学習内容の概要	自然界における現象を基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。					
学習方法	実験や視聴覚教材を利用し、演習問題を通して教科書の内容を理解させる					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。					
使用教材	教科書、第一学習社 物理 問題集、第一学習社 セミナー物理基礎+物理					
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出や問題演習を行なう					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第Ⅲ章 電気と磁気	第3節 電流と磁場 ①磁場 ②電流が磁場から受ける力 ③ローレンツ力	60	磁場の定義を確認し、直線電流、円電流、ソレノイドの内部それぞれが作る磁場について理解させる。 電流が磁場から受ける力を考察し、運動する荷電粒子が磁場から受ける力(ローレンツ力)について理解させる。	始業式
5		第4節 電磁誘導と交流 ①電磁誘導 ②交流 ③電磁波		ファラデーの電磁誘導の法則を理解させるとともに、交流の発生の仕組み、自己誘導と相互誘導、交流回路についても理解させる	中間考査
6	第Ⅳ編 原子	第1節 電子と光 ①電子 ②光の粒子性 ③X線 ④粒子の波動性		光子を用いたアインシュタインの考えによって、光電効果が説明できることを理解する。 X線の発生とその原理を学習し、特性X線や連続X線、最短波長などについて理解する。 物質波について学習し、弱い光源によるヤングの実験をもとに、粒子性と波動性の二重性を理解する。 ラザフォードの原子模型、ボーアの原子模型について説明し、水素のエネルギー準位を理解させる。 放射線の種類と本体、放射能と放射線の性質と利用について説明し、理解させる。	期末考査
7		第2節 原子と原子核 ①原子の構造 ②原子核と放射線 ③核反応とエネルギー ④素粒子と宇宙		原子核反応の前後で質量数の和と原子番号の和はそれぞれ変わらないことを理解させ、質量欠損、結合エネルギーの定義を正しく理解させる。 素粒子とは何かを把握させ、その種類について説明する。	終業式
8				始業式	
9	問題演習	第1章 力学 SECTION1 物体の運動 SECTION2 力と運動 SECTION3 仕事とエネルギー SECTION4 運動量 SECTION5 慣性力・円運動 単振動・万有引力 SECTION6 剛体の運動 第2章 熱力学 SECTION1 熱と理想気体・分子運動論 SECTION2 熱力学第1法則と比熱 SECTION3 気体の断熱変化と自由膨張 第3章 波動 SECTION1 波の性質 SECTION2 音波 SECTION3 光波 第4章 電界と磁界 SECTION1 電界と電位 SECTION2 コンデンサー SECTION3 直流回路 SECTION4 電流と磁界 SECTION5 電磁誘導 SECTION6 交流と電磁波 第5章 原子と原子核 SECTION1 光の粒子性 SECTION2 X線の波動性と粒子性 SECTION3 電子の波動性 SECTION4 原子構造 SECTION5 原子核の放射性崩壊 SECTION6 核エネルギー・素粒子	84	演習問題を通じて現象を正しく把握し、法則のもつ本来の意義を十分理解させる。 基本から応用まで取り組むようにする。	中間考査
10					期末考査
11					終業式
12					始業式
1					
2					
3					

教科名	理科	科目名	物理	単位数	4 単位
対象学年	第3学年 普通科文理選抜コース理系物理選択	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の物理分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。				
学習内容の概要	自然界における現象を基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。				
学習方法	実験や視聴覚教材を利用し、演習問題を通して教科書の内容を理解させる				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書、第一学習社 改訂物理 問題集、第一学習社 セミナー物理基礎+物理				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	第I章 運動とエネルギー	第1節 平面運動と剛体のつりあい ①平面運動 ②放物運動 ③剛体にはたらく力 第2節 運動量の保存 ①運動量と力積 ②運動量保存の法則 ③反発係数 第3節 円運動と単振動 ①円運動 ②慣性力と遠心力 ③単振動 ④万有引力による運動 第4節 気体の性質と分子の運動 ①気体の法則 ②気体の分子運動 ③気体の内部エネルギーと仕事	40	速度や加速度のベクトルを用いた扱いを十分に理解させる。 剛体にはたらく力の効果は、力の大きさと向きのほか、作用線の位置により決まることを理解させる。 運動の法則から力積と運動量の関係が導かれ、これをもとに物体の衝突や分裂などの現象を扱う方法を理解させる。 反発係数は衝突直後と直前における2物体の相対速度の大きさの比で表されることを理解させる。 等速円運動における物体の速さ、角速度、回転数、周期などを用いて表し、これらの間に成り立つ関係を学習させる。 等速円運動をする物体の直径方向への正射影が単振動であることを理解させる。 ケプラーの法則と運動方程式から万有引力の公式が得られることを、惑星の運動を等速円運動とみなした場合について導きだす過程を示す中で理解させる。 理想気体の内部エネルギーは分子の運動エネルギーの総和であり、平均運動エネルギーと絶対温度の関係式から、内部エネルギーが絶対温度に比例することを理解させる。熱力学第一法則は、熱現象をも含めたエネルギー保存則であることを理解させる。	始業式 中間考査 期末考査		
5							
6							
7	第II章 波動	第1節 波の伝わり方 ①波の性質 ②波の干渉・反射・屈折・回折 第2節 音波 ①音の伝わり方 ②ドップラー効果 第3節 光波 ①光の性質 ②レンズと鏡 ③光の回折と干渉	20	波が伝わるといこと・振動の伝播と波形から波の概念を理解させ、波はエネルギーを運び、情報を伝えることを理解させる。 波の独立性や重ね合わせの原理・ホイヘンスの原理・反射、屈折の法則など波の性質を理解させる。 音波は空気や水を伝わる縦波であるということや、音の三要素・音の反射・屈折・回折・干渉などの性質や「ドップラー効果」について理解させる。 光の波動性を実験や観察を通して理解させる。作図によってレンズの式を幾何学的に導き、レンズの性質を理解させる。 レンズによってできる像の種類としくみを理解させる。さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。	終業式		
8						始業式	
9	第III章 電気と磁気	第1節 電場と電位 ①電場 ②電位 ③コンデンサー 第2節 電流 ①電流と抵抗 ②直流回路 ③半導体 第3節 電流と磁場 ①磁場 ②電流が磁場から受ける力 ③ローレンツ力 第4節 電磁誘導と交流 ①電磁誘導 ②交流 ③電磁波	48	電荷にはたらく遠隔力から電界の存在を理解し、電界のする仕事と位置エネルギーの関係から電位及び電位差を理解させる。 コンデンサーの原理と働きを理解させる。 導体を移動する自由電子から電流について理解させる。 電気抵抗と回路を流れる電流の関係を理解する。 電流の向きと大きさについてしっかりと理解させる。 電流や電圧の意味を確認しながらギルヒホッフの法則をきちんと理解させる。 半導体について、電流が流れる仕組みや特徴を理解させる。 磁場の定義を確認し、直線電流、円電流、ソレノイドの内部それぞれがつくる磁場について理解させる。 電流が磁場から受ける力を考察し、運動する荷電粒子が磁場から受ける力（ローレンツ力）について理解させる。 ファラデーの電磁誘導の法則を理解させるとともに、交流の発生仕組み、自己誘導と相互誘導、交流回路についても理解させる。	体育祭 中間考査 文化祭		
10							
11							
12	第IV編 原子	第1節 電子と光 ①電子 ②光の粒子性 ③X線 ④粒子の波動性 第2節 原子と原子核 ①原子の構造 ②原子核と放射線 ③核反応とエネルギー ④素粒子と宇宙	40	光子を用いたアインシュタインの考えによって、光電効果が説明できることを理解する。 X線の発生とその原理を学習し、特性X線や連続X線、最短波長などについて理解する。 物質波について学習し、弱い光源によるヤングの実験をもとに、粒子性と波動性の二重性を理解する。 ラザフォードの原子模型、ボーアの原子模型について説明し、水素のエネルギー準位を理解させる。 放射線の種類と本体、放射能と放射線の性質と利用について説明し、理解させる。 原子核反応の前で質量数の和と原子番号の和はそれぞれ変わらないことを理解させ、質量欠損、結合エネルギーの定義を正しく理解させる。 素粒子とは何かを把握させ、その種類について説明し、理解させる。	期末考査		
1							
2							
3							卒業式

教科名	理科	科目名	化学	単位数	4単位
対象学年	第3学年 普通科特別進学(理系)	履修形態	必修	授業形態	分割
科目の目標	自然の事物・現象について、化学的に考察する能力と態度を身に付けさせる。				
学習内容の概要	自然界における現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解させる。				
学習方法	実験や視聴覚教材を利用しながら、教科書の内容を理解させる。				
評価の観点 ・評価方法	規定に従い、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。				
使用教材	数研出版「化学」、数研出版「リードlightノート化学」				
その他	放課後、長期休暇の講習等では、授業を進める場合もある。				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	有機化合物	有機化合物 芳香族化合物	24	基本的な有機化合物の組成や構造と性質の関係を学ぶ。	始業式
5	天然有機化合物	天然有機化合物 天然高分子化合物	28	生体を構成する有機化合物の組成や構造と性質の関係を学ぶ。	中間考査
6	合成高分子化合物	高分子化合物の性質 合成高分子化合物	12	合成高分子化合物の組成や構造と性質の関係を学ぶ。	期末考査
7					終業式
8	総合演習	総合問題演習	24	問題集の標準問題を中心に学習し、基礎力を養成する。	始業式
9					
10	総合演習	総合問題演習	32		中間考査
11					期末考査
12	総合演習	総合問題演習 センター対策演習	12	センター試験の過去問題を中心に学習し、実力を養成する。	終業式
1	センター試験対策		12	模擬試験の過去問を中心に学習し、実力を養成する。	始業式
2	二次対策		16	国・公・私立大学の二次試験の過去問を中心に学習し、より深い内容を理解する。	
3					卒業式

教科名	理科	科目名	化学	単位数	4 単位
対象学年	第 3 学年 普通科文理選抜(理系)	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	自然の事物・現象について、化学的に考察する能力と態度を身に付けさせる。				
学習内容の概要	自然界における現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解させる。				
学習方法	教科書の内容を主に講義によって授業を行う。問題集は各自が自宅で学習する。				
評価の観点 ・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。				
使用教材	数研出版「新編 化学」、数研出版「新編 化学 準拠ノート 教科書の整理」				
その他	原則として、各自で希望大学の受験勉強を行う。 基本的に講習は実施できないので、勉強の仕方やわからない所などは自主的に質問にくること。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	物質の状態	粒子の結合と結晶 物質の状態変化 気体 溶液	24	気体の体積と圧力と温度の関係を理解し、計算方法を体得する。 溶解のしくみや希薄溶液でおこる現象を理解し、計算方法を体得する。	始業式
5					中間考査
6	物質の変化	化学反応とエネルギー 電池と電気分解	12	化学変化や状態変化には熱の出入りが伴う。この現象の意味することをエネルギーの観点から考える。さまざまな化学反応において、その反応の速さの違いや、化学平衡の状態について学ぶ。	期末考査
7					終業式
8		化学反応と速さのしくみ 化学平衡	10		始業式
9	無機物質	非金属元素 典型金属元素 遷移元素	16	元素を周期表に基づいて分類し、単体や化合物の性質を広く学ぶ。金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習する。また、金属元素を典型金属元素と遷移元素に分けその違いについても学ぶ。	
10	有機化合物	有機化合物の分類と分析 脂肪族化合物 アルコールと関連化合物 芳香族化合物	18	有機化合物の特徴や分類法、成分元素の検出、分子式を求める方法などを学ぶ。分子の構造に基づく有機化合物の考え方を把握する。 ベンゼン環をもつ化合物の種類とその性質を学ぶ。	中間考査
11	高分子化合物	高分子化合物の特徴 天然有機化合物 高分子化合物	18	生体を構成する有機化合物の組成や構造と性質の関係を学ぶ。合成高分子化合物の組成や構造と性質の関係を学ぶ。	期末考査
12	総復習とセンター対策		8	センター試験や模擬試験の過去問を中心に学習し、実力を養成する。	終業式
1	私立、国公立二次対策		14	国・公・私立大学の過去問を中心に学習し、より深い内容を理解する。	始業式
2					
3					卒業式

教科名	理科	科目名	生物	単位数	4 単位
対象学年	第3学年 普通科特進理系生物選択	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の生物分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う。				
学習方法	演示実験や生徒実験および視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書、 数研出版 生物 問題集、 数研出版 改訂版 リードα 生物基礎+生物 数研出版 チェック&演習 生物				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事				
4	第3編 生物の環境応答	第5章 動物の反応と行動	24	ニューロン構造とはたらきを理解させる。受容器、神経系、効果器へと至る経路を学習する。動物の行動については、神経系における情報の流れと関連づけながら扱う。植物は成長を調節するなどして環境に応答し、植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。生態系における物質生産、各栄養段階とエネルギー効率の関係について学習する。	中間考査				
5		第6章 植物の環境応答	35						
6	第4編 生態と環境	第7章 生物群集と生態系		32	生命の起源および生物の変遷と地球環境の変化を理解させる。分子進化の概念や種分化のしくみについても学習する。生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解させる。その際、形態的な分類、DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列といった分子データにもとづいて系統関係が調べられていることについても扱う。	期末考査 終業式 始業式			
7		第8章 生命の起源と進化							
8		第9章 生物の系統							
9	第5編 生物の進化と系統		32		中間考査				
10						センター試験対策	32	生徒個々の進路に応じ試験の対策にあてる。	期末考査
11									
12									
1	2次試験対策		28	生徒個々の進路に応じ試験の対策にあてる。	始業式 センター試験				
2									
3					卒業式				

教科名	理科	科目名	生物	単位数	4 単位
対象学年	第3学年 文理選抜理系生物選択		履修形態	必修	授業形態 単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の生物分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う。				
学習方法	演示実験や生徒実験および視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書、東京書籍 スタンダード生物 問題集、数研出版 五訂版 リードα 生物基礎+生物				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1編 生命現象と物質	第1章 生体物質と細胞 第2章 生命現象を支えるタンパク 第3章 代謝とエネルギー	56	タンパク質については基本的な構造を学習した上で酵素などその立体構造と生命活動において果たすはたらきとの関連を理解させる。 生体膜や細胞骨格についてはその構造や機能を学習する。生物基礎で学習した呼吸・光合成・窒素同化についてさらに詳しい仕組みを理解させる。	始業式
5					中間考査
6	第2編 遺伝子のはたらき	第1章 DNAの構造と複製 第2章 遺伝子の発現調節 第3章 バイオテクノロジー 第4章 遺伝情報の発現	56	DNAの構造・複製・タンパク質合成の仕組みをさらに詳しく学習し理解させる。また、染色体に遺伝子が存在すること、有性生殖では、減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを理解させる。動物の配偶子形成・受精と初期発生の過程を学習する。また、分化や形態形成のしくみ調節する遺伝子について理解させる。植物の配偶子形成・受精と胚発生の過程を学習し、器官分化における遺伝子のはたらきについて理解させる。	期末考査
7					終業式 夏期補習
8	第3編 生殖と発生	第1章 多様な個体が生じる有性生殖 第2章 動物の発生 第3章 動物の発生のしくみ 第4章 植物の発生	56	ニューロン構造とはたらきを理解させる。受容器、神経系、効果器へと至る経路を学習する。動物の行動については、神経系における情報の流れと関連づけながら扱う。植物は成長を調節するなどして環境に応答し、植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。	始業式
9					中間考査
10	第4編 生物の環境応答	第1章 動物の刺激の受容と反応 第2章 動物の行動 第3章 植物の環境応答	32	生態系における物質生産、各栄養段階とエネルギー効率の関係について学習する。	中間考査
11	第5編 生態と環境	第1章 生物の多様性と生態学 第2章 個体群と生物群集 第3章 生態系の物質生産とエネルギー 第4章 生態系と生物多様性	40	生命の起源および生物の変遷と地球環境の変化を理解させる。分子進化の概念や種分化のしくみについても学習する。生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解させる。その際、形態的な分類、DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列といった分子データにもとづいて系統関係が調べられていることについても扱う。	期末考査
12					第6編 生物の進化と系統
1	2次試験対策		17	生徒個々の進路に応じ試験の対策にあてる。	始業式
2					センター試験
3					卒業式

教科名	理科	科目名	地学基礎	単位数	4単位	
対象学年	第3学年 普通科特別進学・文理選抜(文系)		履修形態	必修	授業形態	分割
科目の目標	日常生活や社会と関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。					
学習内容の概要	宇宙の誕生と現在の宇宙の姿、惑星としての地球を理解する(第1、6編)。プレート運動の理解を通し、活動的な地球の姿を認識する(第2編)。大気の構造と地球全体の熱収支や大気・海水の循環について学ぶ(第3編)。地球環境や生物の変遷を学ぶ(第4編)。自然環境が人間生活とかかわっていることを学ぶ(第5編)。					
学習方法	教材を利用して教科書の内容を理解するとともに、センター試験過去問を用いて実戦演習を行う。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。					
使用教材	数研出版「地学基礎」、数研出版「リードlightノート地学基礎」、浜島書店「新地学図表」					
その他	長期休暇の講習等では、授業を進める場合もある。					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	惑星としての地球	太陽系の中の地球 地球の形と大きさ 地球の構造	12	地球の特徴や、地球の誕生について学ぶ。地球の大きさに対するスケールを理解する。固体地球の層構造や構成物質の化学組成を学ぶ。	始業式
5	活動する地球	プレートの運動とそれに伴う現象 火山 地震と地殻変動	28	プレートの運動について学ぶ。火山活動と地震活動が総合的に一つの仮説にまとめられることについてふれる。マグマの性質と火山の噴火形式と火山地形の関係を理解する。プレートの沈み込み地帯で起こる地震現象を理解する。それに伴う変動地形と変成作用まで言及する。	中間考査
6					期末考査
7	大気と海洋	地球の熱収支	12	大気圏の構造とともに、太陽の放射エネルギーによる地球の熱収支について理解する。	終業式
8					始業式
9	大気と海洋	大気と海水の運動	10	太陽の放射エネルギーや海洋が熱収支のバランスにとって重要であることを理解する。	
9	移り変わる地球	地層の形成 古生物の変遷と地球環境	10	地層の重なりや変形のしくみや、地球と生命の関係の理解を深める。	
10	地球の環境	環境と人間 日本の自然環境	16	日本の自然環境の特徴を知るとともに、そこで起こっている災害を理解する。	中間考査
11	宇宙の構成	太陽と恒星 宇宙のすがた	16	太陽の活動のようすなどについて学ぶ。また、恒星の性質を分析する方法や恒星の進化の過程や時間的なスケールを理解する。ビッグバンによる宇宙の誕生を理解し、宇宙の構造を知る。	期末考査
12		センター試験対策	24	センター試験や模擬試験の過去問を中心に学習し、実力を養成する。	終業式 始業式
1					センター試験
2		入学試験対策	16	模擬試験の過去問を中心に学習し、実力を養成する。	
3					卒業式

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科	履修形態	必修	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・マット運動・サッカーを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲を高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事		
4	陸上	跳躍	3 3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式		
5		投てき	3 3 3		中間考査		
6		競走	3 3 3		期末考査		
7		跳躍・投てき・競走	3 3		測定。	終業式 夏期補習	
8			3			始業式	
9		バレーボール	パス		3 3 3	バスの種類を覚える。 (オーバーパス、アンダーパス) 正しいバスの仕方を学ぶ。	学校祭
10			ドリブルシュート		3 3 3	サーブの種類を覚える 正しいアタックの仕方を覚える	中間考査
11	ゲーム		3 3 3	協調性を高める学習をする。	期末考査		
12	バスケットボール	パス	3 3 3	バスの種類を覚える。 正しいバスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	終業式		
1		ドリブルシュート	3 3 3	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式		
2		ゲーム	3 3 3	協調性を高める学習をする。	入試 期末考査		
3					終業式		

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科女子	履修形態	必修	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を完成させる。				
学習方法	陸上・バドミントン・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに常に互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	陸上	跳躍	3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式		
5		投てき	3		測定。	中間考査	
			3				
			3				
			3				
6		競走	3		測定。	期末考査	
3							
7	跳躍・投てき・競走	3	測定。	終業式 夏期補習			
8	バドミントン	サーブ	3	サーブの種類を 覚える 回数を決めて連続で 打ち合えるようにする。	始業式		
9		乱打	3		スマッシュの種類を覚えて、 思い切り打てるようにさせる。	学校祭 中間考査	
10			3				
		スマッシュ	3			協調性を高める学習をする。	期末考査
3							
11		ゲーム	3				
12	バスケットボール	パス	3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。		終業式	
1		ドリブルシュート	3		ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式	
			3				
			3				
2		ゲーム	3			協調性を高める学習をする。	入試 期末考査
			3				
3				終業式			